

## 第1回石巻市みどりの基本計画策定懇談会

日時：令和6年10月24日（木）

午後1時30分から

場所：500会議室

### 次 第

#### 1 開会

#### 2 あいさつ

#### 3 策定体制（資料1）

#### 4 座長及び副座長の選出

#### 5 議事

##### (1) 説明事項

ア 緑の基本計画制度（資料2）

イ 石巻市立地適正化計画（資料3）

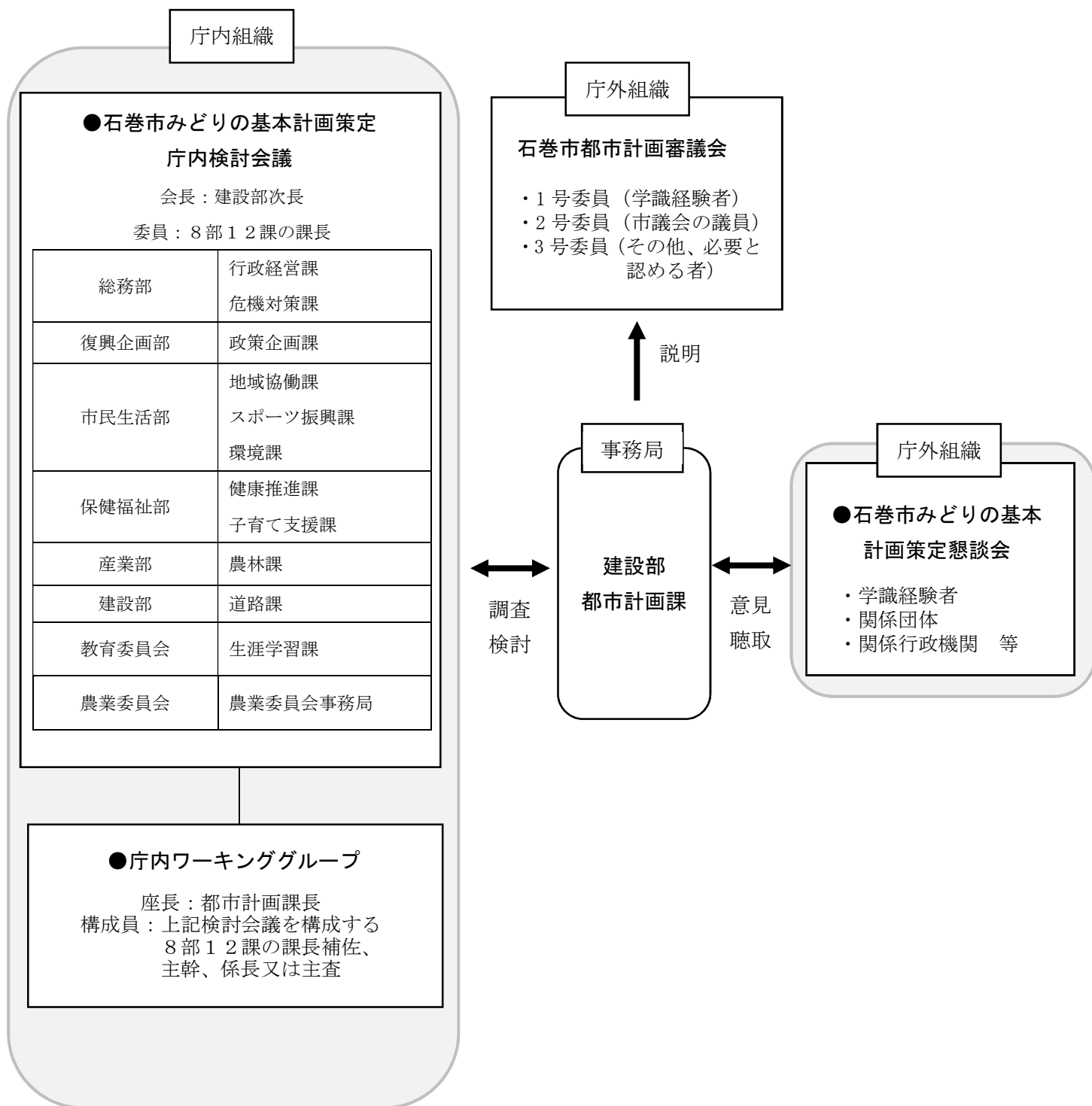
ウ 石巻市のみどりの現況（資料4）

エ 住民意識調査（資料5）

##### (2) 意見交換

#### 6 閉会

## 石巻市みどりの基本計画策定体制



※ 今回新たに設置した組織は（●）が付いたもの。

# 第 1 回 石巻市みどりの基本計画策定懇談会

---

## ア 緑の基本計画制度について

## ア 緑の基本計画制度について

### 1 緑の基本計画とは？

「**緑の基本計画**」は、都市緑地法第4条に基づき市町村が定める計画で、緑地の適正な保全や緑化の推進に関して、住民意見を反映しつつ、**概ね20年後の将来像、目標、**それに向けた**施策**などを策定するものです。

【計画で定めるもの（抜粋）】

- (1) 緑地の保全及び緑化の目標
- (2) 緑地の保全及び緑化の推進に関すること
- (3) 都市公園の整備及び管理の方針その他緑地の保全及び緑化の推進に関すること



■石巻南浜津波復興祈念公園



■県立旭山自然公園

#### ※都市緑地法 第4条

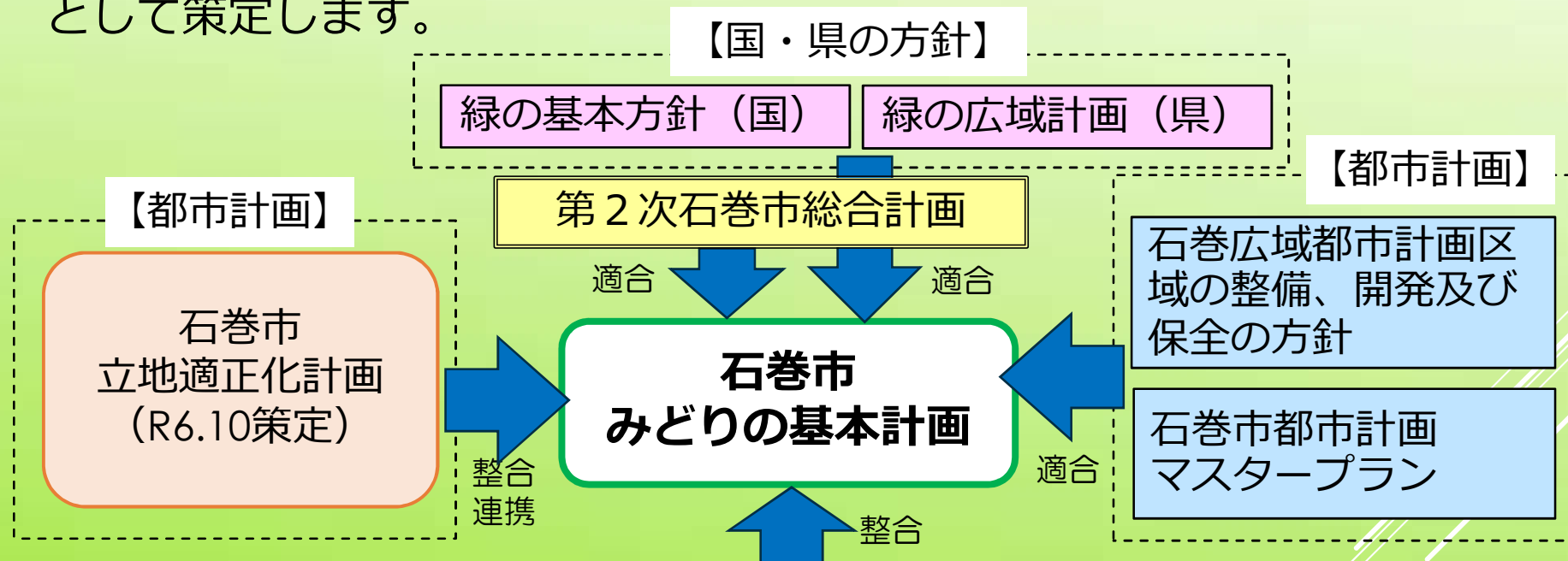
市町村は、**都市における緑地の適正な保全及び緑化の推進**に関する措置で主として都市計画区域内において講じられるものを総合的かつ計画的に実施するため、基本方針に基づき、当該市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画を定めることができる。



## ア 緑の基本計画制度について

### 2 計画の位置付け

緑の基本計画は、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」に適合する必要がある、「第2次石巻市総合計画」や「石巻市都市計画マスタープラン」などと適合・整合を図りながら、**緑に関する方針を具体化する計画**として策定します。



#### 【関連計画】

石巻市国土強靱化地域計画、石巻市環境基本計画、石巻市公共施設等総合管理計画、石巻市生物多様性地域戦略、第3期中心市街地活性化基本計画 など

## ア 緑の基本計画制度について

### 3 石巻市のみどりに関する方針・目標

上位・関連計画における「みどりのまちづくり」に関する方針・目標は、次のとおり定めています。

#### 【第2次 石巻市総合計画】

##### 基本目標2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち

道路や下水道などの生活基盤を充実させるとともに、台風や津波などの災害による被害を最小限に抑える都市の形成や、地球環境と本市の環境のつながりを意識した海、山、川などの自然環境の保全により、**都市機能と自然環境が調和した、快適とやすらぎが生まれるまち**を目指します。

#### 【都市計画マスタープラン】全体基本方針《公園・緑地の方針》

誰もが安全に利用することができる**公園・緑地を適正に配置し**、施設の長寿命化に取り組むとともに、市民との協働や公民連携による公園づくりや**持続可能な維持管理システムを構築し**、市民生活にとって身近で安らげる空間を形成します。

#### 【環境基本計画】基本目標1 多様な自然との共生

- ① 自然環境 『豊かな自然環境を創出します』
- ② 都市環境 『身近に緑とふれあえる環境を創出します』
- ③ 地域景観 『地域らしさを活かした景観づくりを進めます』

## ア 緑の基本計画制度について

### 4 計画対象区域

本計画の対象区域は、市全体を一体的に捉えた緑のまちづくりの方向性を示すため、**石巻市域全域を対象**とします。

なお、緑の基本計画の対象区域は都市計画区域内において定めることとされておりますが、本市の約7割が都市計画区域外であり、緑豊かな地域が広がっているため、石巻市域全域について緑地の保全等に関する措置を定めるものとし、都市公園の配置などの**都市計画に関する事項については、都市計画区域を対象**とします。



#### ※都市緑地法 第4条

市町村は、都市における緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する措置で**主として都市計画区域内において講じられるもの**を総合的かつ計画的に実施するため、基本方針に基づき、当該市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画を定めることができる。

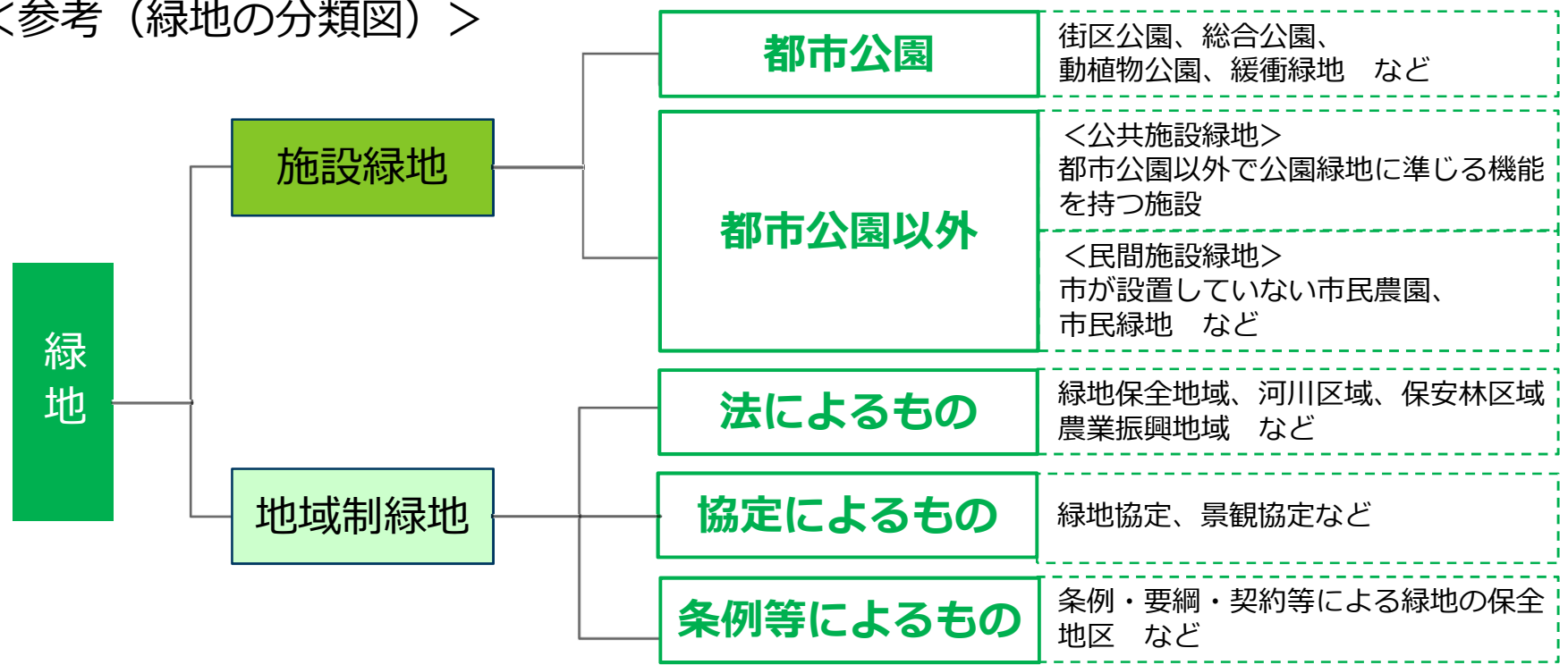
## ア 緑の基本計画制度について

### 5 対象とする緑の定義

**対象とする「緑」**は、都市公園や公共施設の緑地などを含む「**施設緑地**」と、法による地域の指定や協定、条例などにて保全が図られている「**地域制緑地**」を**対象**とします。

なお、本計画においては、緑を公園、森林、河川、道路、公共施設の植栽地など、広い概念で捉えるため、ひらがなの「**みどり**」と表記します。

＜参考（緑地の分類図）＞





# ア 緑の基本計画制度について

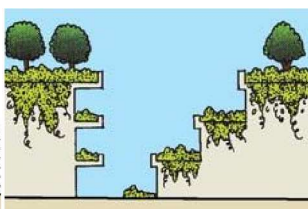
## 6 緑の役割

緑が有する多様な機能について、主に**4つの機能に分類して分析・評価**していきます。

### 環境保全



緑陰の提供、大気汚染の改善



気温の緩和



生物の生息環境

### 景観形成機能



自然景観の形成



田園景観の形成

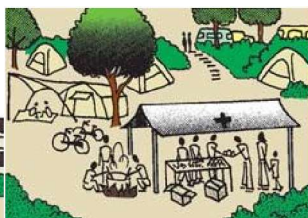


都市景観に潤いを与える

### 防災機能



延焼の遅延や防止

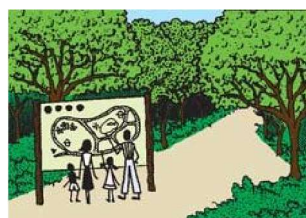


災害時の避難場所

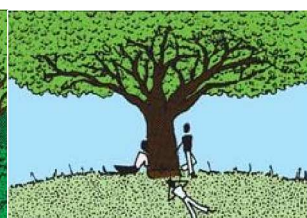


流出量の調整、洪水の予防

### 健康・レクリエーション機能



様々な余暇活動の場



休養・休息の場



運動・遊びの場

※出典：神戸市緑の基本計画

## ア. 緑の基本計画制度について

### 7 緑地の保全及び緑化の目標例・施策例

緑の将来像や緑地の確保目標水準のような**総量目標（アウトプット）**

＜主な目標例＞

- ・ 緑の量の維持・保全（一人当たりの都市公園面積など）
- ・ 公園等を活用したイベント開催件数の増加

これらの目標を達成することで得られる**成果目標（アウトカム）**

＜主な目標例＞

- ・ 身近な緑に対する市民満足度の向上
- ・ 身近な公園の質に対する満足度の向上

計画実現のための**具体的に講ずる施策**

＜緑を“**守る**”施策＞

- ・ 市民による緑保全活動の促進

＜緑を“**育む**”施策＞

- ・ 市民花壇の設置、緑のボランティアの育成
- ・ 公園の集約や再整備

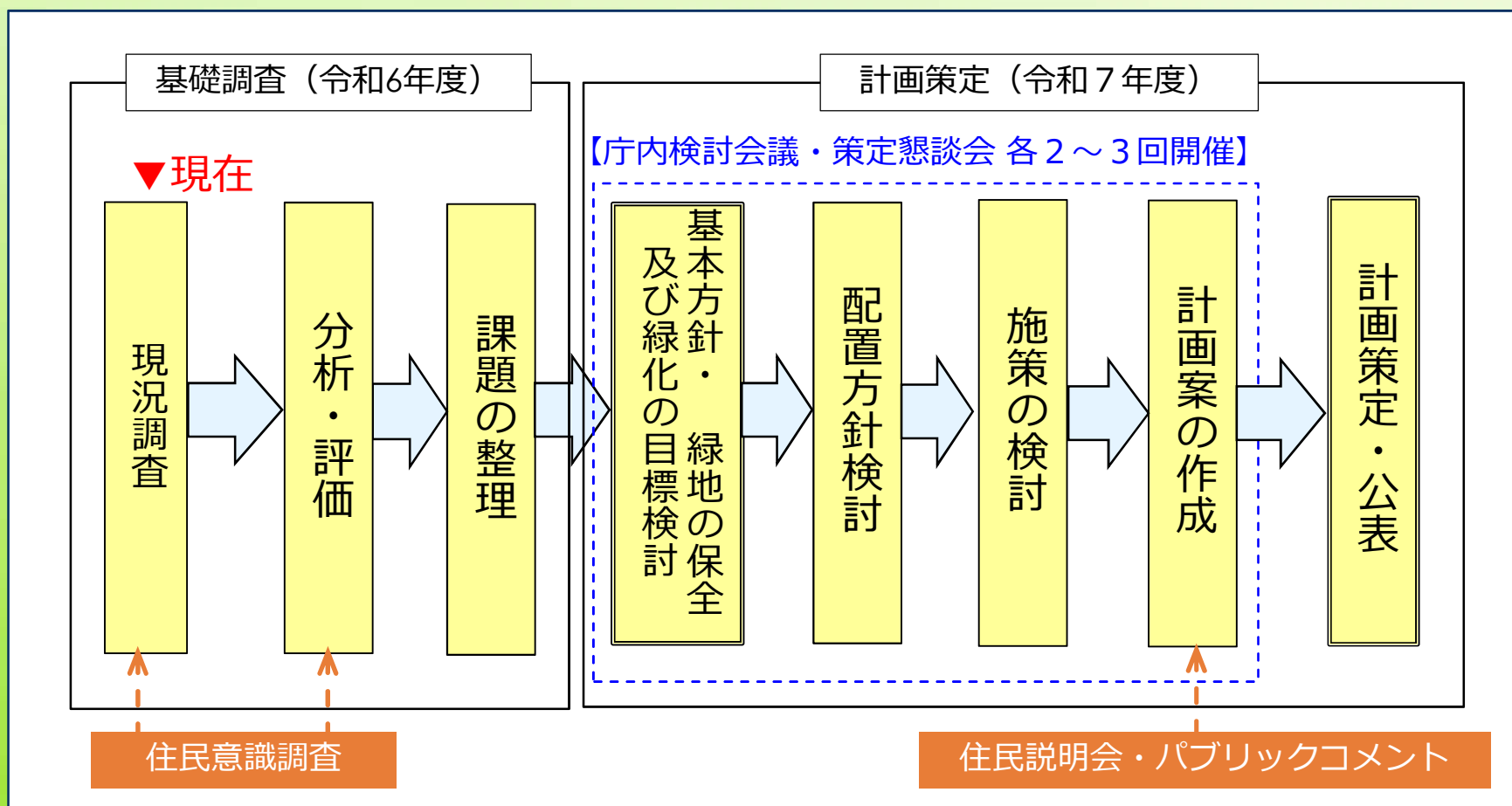
＜緑を“**活用する**”施策＞


- ・ 緑の適切な保全・管理による防災対策
- ・ 公園利活用促進（指定管理、Park-PFI制度活用検討） など

# ア 緑の基本計画制度について

## 8 策定スケジュール

令和7年度末を目標に策定します。





# 石巻市 立地適正化計画 概要版

令和6年10月  
石巻市



# 第1章 はじめに

## 「立地適正化計画」とは

立地適正化計画は、全国的に人口減少・少子高齢化の進行や都市の低密度化に伴う都市機能の低下、公共施設の維持更新費用の増大等が懸念される中、持続可能な都市経営を可能にするため、コンパクト・プラス・ネットワークを基軸においたまちづくりを推進し、段階的に都市構造を変容させるものです。

立地適正化計画では、従来の土地利用の計画(区域区分制度、用途地域等)に加えて、都市機能誘導区域や居住誘導区域を設定し、コンパクトシティ形成に向けた取組を推進します。

### 立地適正化計画策定で期待される効果

地域活力の維持・増進、生活サービス機能の確保による安心な暮らしを実現する  
“コンパクト”なまちづくり

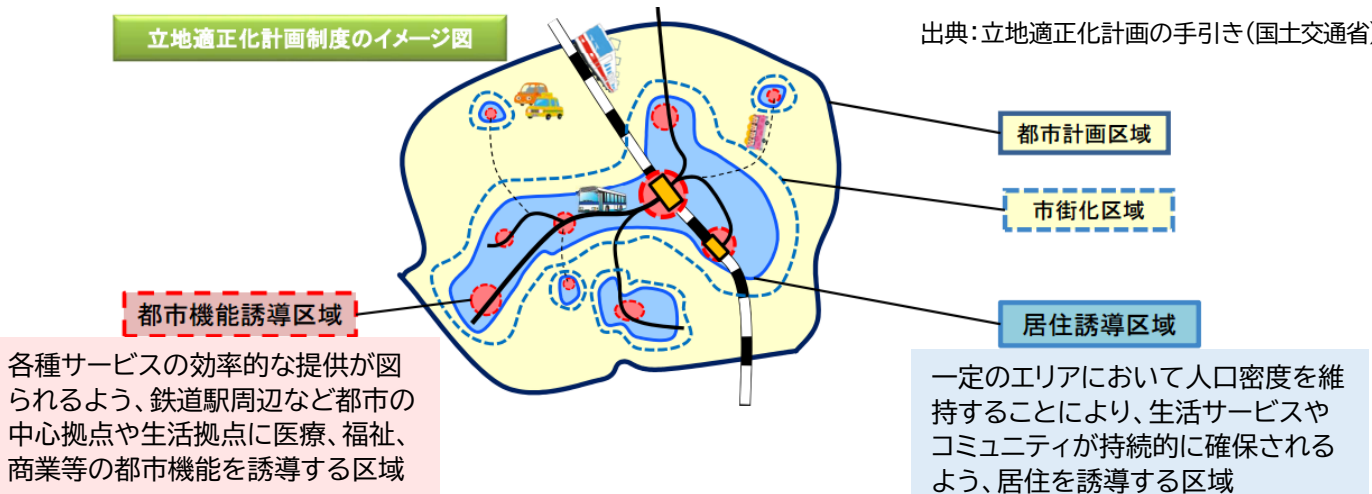
地域公共交通と連携した  
“ネットワーク”の形成

- ▶ 生活サービス施設維持や住民の健康増進等、生活利便性の維持・向上
- ▶ サービス産業の生産性向上による地域経済の活性化(地域の消費・投資の好循環の実現)
- ▶ 行政サービスの効率化等による行政コストの削減
- ▶ 災害リスクを踏まえた居住等の誘導や防災対策の実施による居住地の安全性強化 等

出典:国土交通省資料から一部抜粋

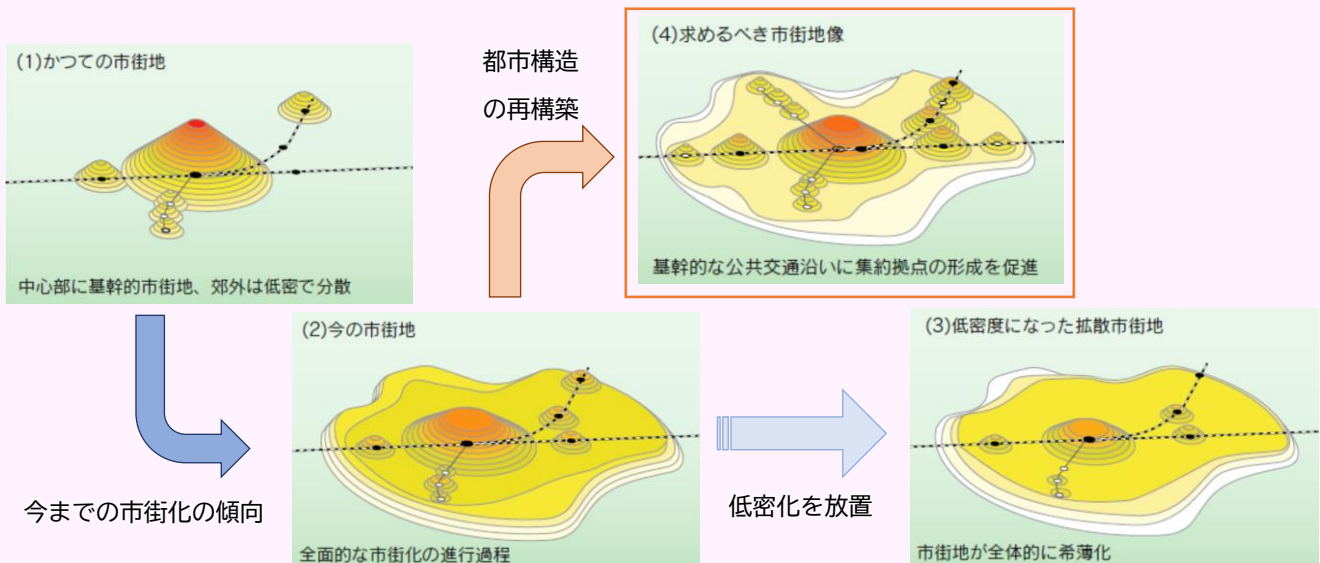
立地適正化計画制度のイメージ図

出典:立地適正化計画の手引き(国土交通省)



## 「多極ネットワーク型コンパクトシティ」を目指して（第5章）

本市においては、「石巻市都市計画マスタープラン」においても改定のポイントとして掲げた「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方による「多極ネットワーク型コンパクトシティ」を目指します。



『集約型都市構造の実現に向けて』(H19.7 国交省 都市・地方整備局)より抜粋

### 「多極ネットワーク型コンパクトシティ」とは…

一極集中ではなく、中心的な拠点と地域の生活拠点を利便性の高い公共交通ネットワークで結ぶことでアクセスがしやすいだけでなく、生活サービス施設と居住地がまとまって立地し、地域住民が自家用車に過度に頼ることなく、日常生活に必要なサービスは身近に存在する都市。

## 第1章 はじめに

### 1. 東日本大震災の最大被災自治体「石巻市」が立地適正化計画を策定する意義

復旧・復興  
したまちを  
次世代へ

本市は東日本大震災において、被害規模では沿岸市町で最大の被災自治体となりました。  
復旧・復興を遂げたまちの営みを次世代へとつないでいく必要があります。

40年後のまち  
の姿を展望

概ね40年後の2060年(令和42年)には約6万人まで人口が減少することが予想されており、将来の人口規模等を見据えたまちづくりが必要となっています。

“最大限活かす”  
20年間

2060年(令和42年)のまちの姿を見据えながら、概ね20年後の2040年度(令和22年度)を計画期間とし、復興まちづくりによって整備された都市基盤の最大限の活用と、まとまりのある市街地形成を基本とした、将来の持続可能なまちづくりへつないでいく道標とします。

人口減少、少子高齢化社会への課題解決の手法の一つとして「立地適正化計画」に取り組みます。現在の市民の暮らしを大切にしながら、子や孫の世代においても「このまちで生まれて、住んで良かった！」と幸福を感じられるよう、切れ目なく緩やかにまちの姿を変化させていくことが大切です。市民と一緒に取り組む市民意識(シビックプライド)の醸成も含め、計画自体を動的に変化させながら都市づくりに取り組んでいくことを目的とします。

### 2. 計画の範囲と期間

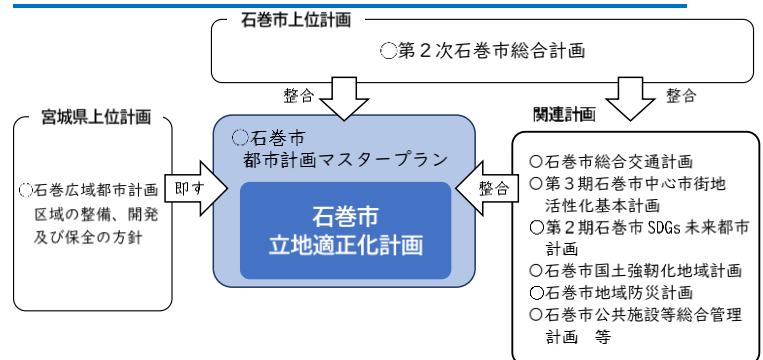
計画範囲

都市計画区域全域  
(石巻広域都市計画区域、河北都市計画区域)

計画期間

2024年度(令和6年度)～  
2040年度(令和22年度)

### 3. 計画の位置づけ



## 第2章 石巻市の特性と取り巻く社会潮流

### 1. 石巻市の特性

#### 宮城県北東部地域を代表する風光明媚な都市

市内のいたるところで海・山・川といった豊かな自然が近くに感じられます。

#### アート・文化が息づく都市

アート・文化が息づく都市づくりを通じて、市内では交流人口が増加し、アーティストの活動や移住が増えています。

#### 東日本大震災の復興から、さらに成長・発展していく都市

全国、全世界からの支援、応援により復興したまちであることを踏まえ、時代の変化に合わせた姿へ変容させていくことが重要です。

#### 移住やまちづくり活動の活性化による新たな力が芽吹く都市

震災後の本市には、気概を持った人材や企業が集まり、さまざまなまちづくり活動が展開され、新たな価値が生み出されています。

### 2. 都市を取り巻く社会潮流の変化

#### SDGsの推進と地域共生社会の実現

#### 世界的な気候変動の危機

#### 働き方・暮らし方の多様化

#### 多様な人材との出会い、交流の重要性の高まり

通信技術の著しい革新により、誰もが容易に情報やモノを入手できる時代になったからこそ「出会い」「交流」の価値が高まっています。

#### 知識集約型経済の拡大

産業構造の転換の担い手として、新たな価値観やアイデアに基づき創造的な価値を既存事業に付加するいわゆる「クリエイティブ人材」の存在が重要視されてきています。

#### 「新技術」「新制度」の到来

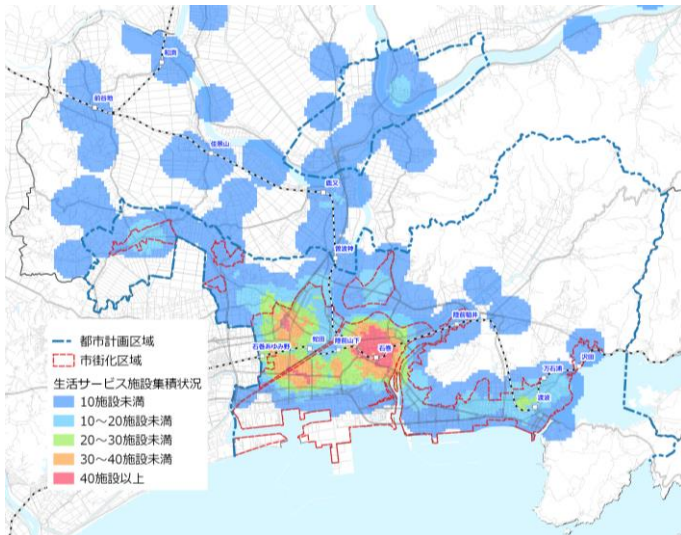
## 第3章 都市構造分析

### 1. 石巻市の現状

#### <生活サービス施設の立地状況>

100m メッシュで徒歩圏内※の生活サービス施設の集積状況を見ると、徒歩でアクセスできる施設が40以上存在するメッシュが、石巻駅周辺や石巻河南インターチェンジ周辺、国道398号(金華山道)沿道に分布しています。

※各生活サービス施設から500m圏内を徒歩圏として設定



### 3. 人口の見通し

2040年(令和22年)の将来人口は約9.7~11.3万人と1985年(昭和60年)のピーク時の半数程度に減少する予測もあります。

今後も年少人口(0~14歳)と生産年齢人口(15~64歳)の割合が減少するとともに、老年人口(65歳以上)の増加が進むと予測されます。

### 2. 市民の生活行動

#### <日常生活でよく利用する場所・地区>

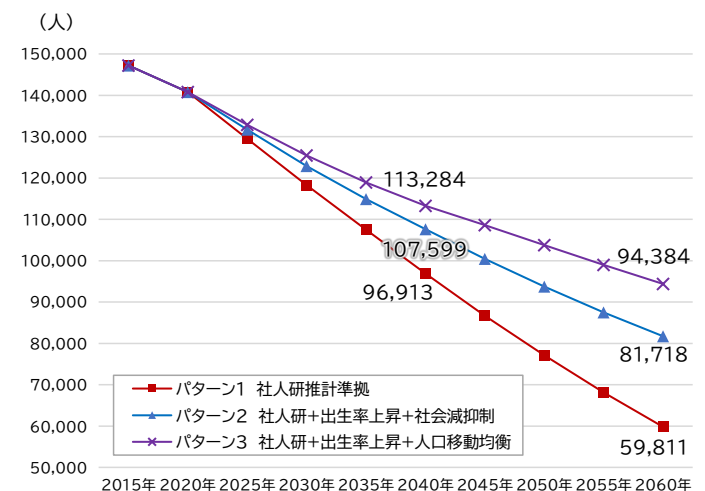
「蛇田地区」は、市民生活における幅広いサービスを支える場となっており、「穀町・立町・中央地区」は、飲食、医療、福祉においてよく利用されています。

利用頻度の高い順→	①	②
食料品・日用品	蛇田地区	中里地区
買回り品	//	//
飲食店	//	穀町・立町・中央地区
通院(医院、診療所等)	//	//
子育て関連施設(幼稚園・保育園等)	//	河南地区
保健センター・福祉施設	穀町・立町・中央地区	//

出典:市民意識調査 ※無記入(無回答)は除いて集計

#### <駅周辺等の拠点の徒歩圏内に必要だと思う施設>

特に「食料品・日用品」「買回り品」「飲食店」「医療(総合病院・診療所)」「金融機関・郵便局」が求められています。



出典:石巻市人口ビジョン

## 第4章 都市課題の整理

本市の特性や都市構造分析、市民意向等を踏まえ、立地適正化にあたっての課題を整理します。

#### <市民生活における課題>

- ✓ 取り戻しつつあるまちの活気・賑わいのさらなる向上
- ✓ 移動が困難な市民・高齢者等への対応
- ✓ 多様な自然との共生と身近な自然環境の保全

#### <社会福祉における課題>

- ✓ 健康で歩いて暮らすことができるまちの実現
- ✓ 子どもの遊び・子育て・教育環境の向上

#### <都市経営における課題>

- ✓ 多様な働き方に対応した都市づくり・地域経済の活性化
- ✓ 持続的に発展するための都市経営の効率化



## 第5章 まちづくりの方針

### 1. 将来のまちづくりの考え方

人口減少下においても生活サービス施設の維持・誘導を図りながら、その周辺への居住促進や公共交通によるネットワークの確保により、高齢者等が歩いても安心して暮らすことができる都市を目指します。

さらに、本市の特性を活かし続けながら、ライフスタイルに応じた質の高い都市環境を確保することで、都市の拠点や居住地の魅力を高め、市全体が持続的に成長・発展する都市を目指します。

《石巻市が目指す将来都市像》

**歩いても暮らすことができ、  
持続的に発展する成熟都市**

～3つの都市拠点の魅力向上と  
ネットワークによる市全体の成長・発展～

《石巻市が目指す将来に向けたまちづくりの考え方》

- 生活サービス施設が継続的に維持・誘導され、都市核拠点、新都市拠点及び準都市拠点の魅力が向上している
- 準都市拠点の形成や周辺地域との連携が強化され、地域連携軸や市街地を通る鉄道駅の持続的なネットワークが維持され、市全体が成長・発展する

### 3. 立地適正化の考え方

＜立地適正化の目指す方向＞

#### 復旧・復興のあゆみを踏まえ、既存ストックを活用し続けるまちづくり

これまでの復旧・復興のあゆみを踏まえ、既存ストック活用により持続可能な都市経営に取り組むとともに、都市を時代の変化に合わせた姿へ変容させるまちづくりを推進します。

#### 本市の特性を磨き上げ、将来を見据えた持続的に成長する都市の構築

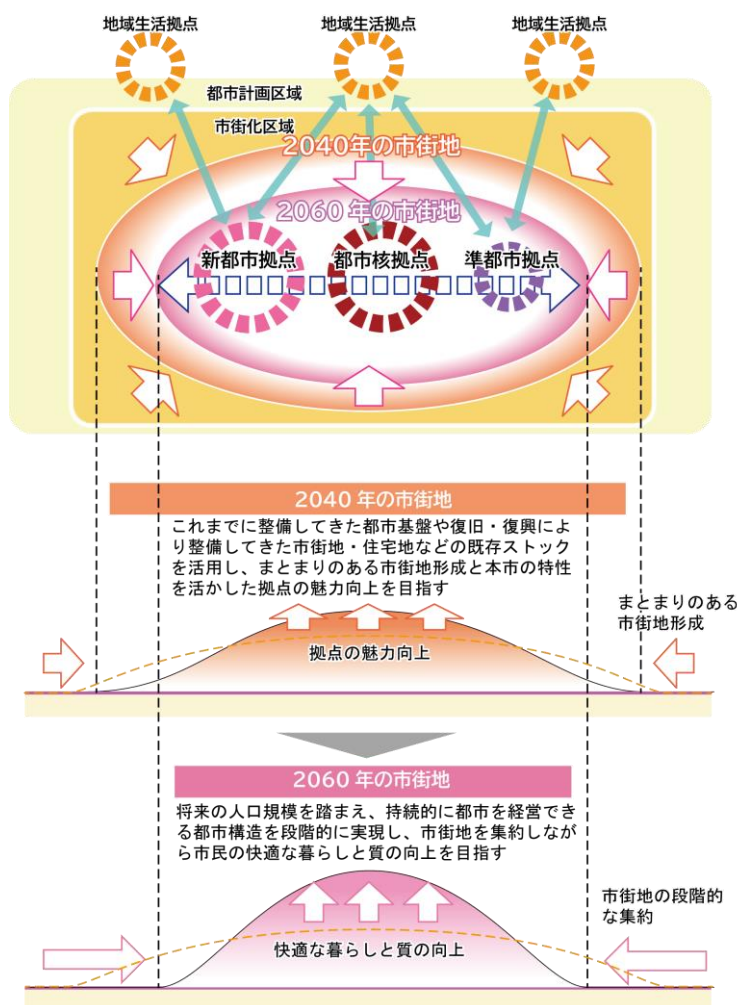
持続的に成長する都市に向けて、本市の特性を活かした「暮らす」「働く」「訪れる」魅力を高めることで、市全体の発展を牽引する都市を構築します。

#### 多様なライフスタイルに応じた、地域の生活イメージを実現

働き方・暮らし方が多様化する中で、本市の特性を活かし、市内各所での生活イメージを可視化し、ライフスタイルにあった暮らしの選択を可能とするまちづくりを実現します。

### 2. 段階的な都市構造の考え方

将来の人口規模や市街地規模に応じて、持続的に都市を運営し、さらに発展していくため、本計画において、本市の特性と既存ストックを活かし続け、まとまりのある市街地形成と拠点の魅力向上を実現し、さらに長期的な将来を見据えた持続的に発展する都市構造を実現します。



## 第5章 まちづくりの方針

### <段階的な立地適正化の考え方（暮らしのイメージ）>

#### 震災復興 ～現在

##### 震災復興による中心市街地部への拠点整備 や移転による安全な市街地への居住促進

震災復興にあたっては、「震災復興基本計画」において『災害に強いまちづくり』を目指し、災害危険区域の指定や多重防御の考え方による高土壌道路等の二線提を整備することと合わせて、住まいの再建のための新市街地の造成、既成市街地の区画整理事業による土地の再編により安全な居住環境の整備を行いました。

震災復興による石巻駅周辺への拠点整備や移転による安全な市街地への居住促進により、安全でコンパクトな市街地を形成しています。

#### 立地適正化計画の計画期間 ～20年後

##### 既存ストックを活かし続け、ライフスタイルに 応じた暮らしが実現するまち

計画期間であるこれからの20年間は、石巻駅周辺や石巻河南インターチェンジ周辺の拠点を「サービス拠点形成エリア」に位置づけ、生活サービス施設の維持・充実を図ります。渡波駅周辺は、準都市拠点と位置づけ、拠点構築を図ります。

また、市街地部の都市拠点周辺及び交通ネットワーク沿線に「都市型居住促進エリア」を設定し、一定の人口密度の維持とまとまりのある市街地形成を目指し、緩やかな居住誘導を図ります。

#### 長期的に目指すべき都市の将来像 ～40年後

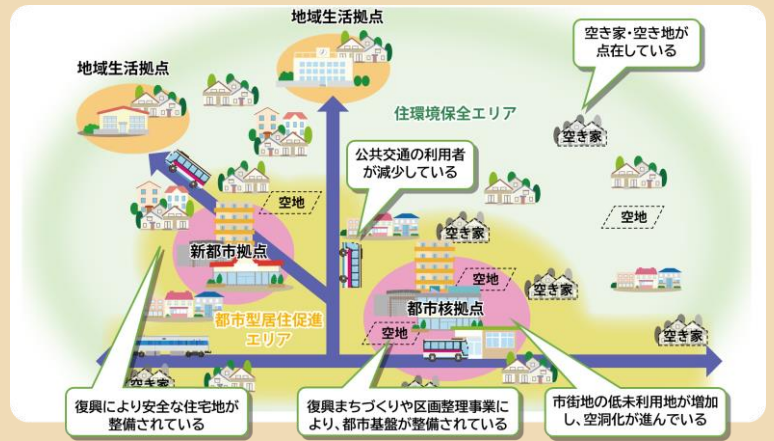
##### 歩いても暮らすことができ、持続的に発展 する成熟都市

長期的には、都市核拠点、新都市拠点及び準都市拠点を中心に、地域連携軸と市街地を通る鉄道駅周辺の居住を促進します。人口減少下においても、まとまりのある市街地を形成することで、生活サービス施設や主要なネットワークを維持・強化し、持続性のある成熟都市を目指します。

#### 《現在の暮らしのイメージ》

##### 現在の暮らしの状態…

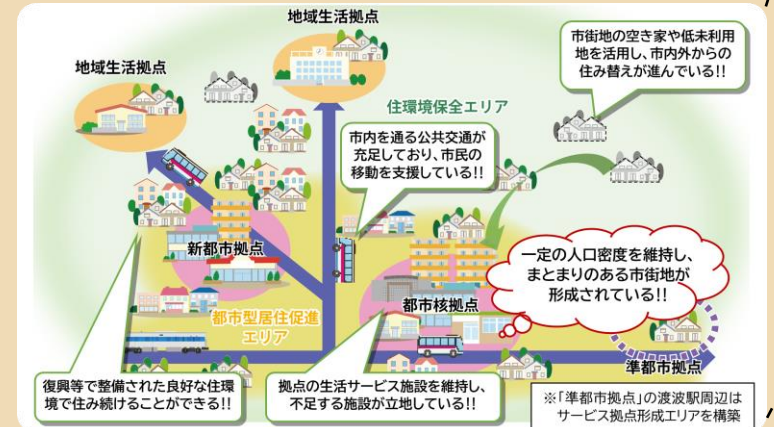
- 復興により新たな市街地・住宅地を再生
- 車中心の移動によりライフスタイルが広域化し、中心部の牽引力が低下



#### 《20年後の暮らしのイメージ》

##### 計画の実現によって…

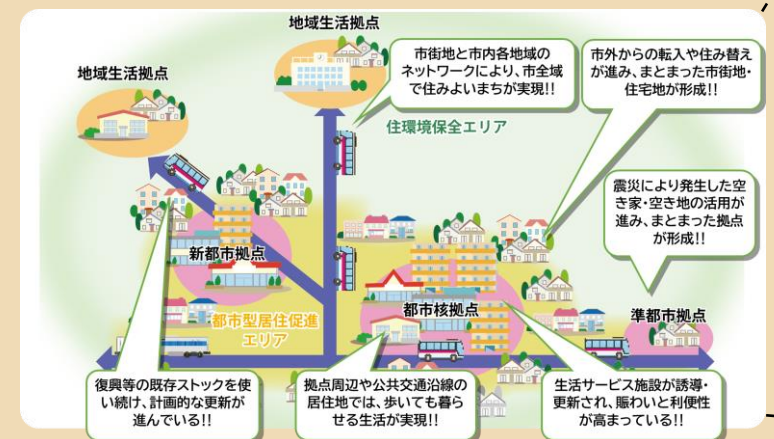
- まとまりのある市街地形成による生活サービス施設の維持と、復興による新たな力を活かし続け、都市の魅力を向上



#### 《40年後の暮らしのイメージ》

##### 計画の継続によって…

- 都市核拠点・新都市拠点・準都市拠点と交通ネットワーク周辺で、歩いても暮らすことができる利便性の高い暮らしを実現





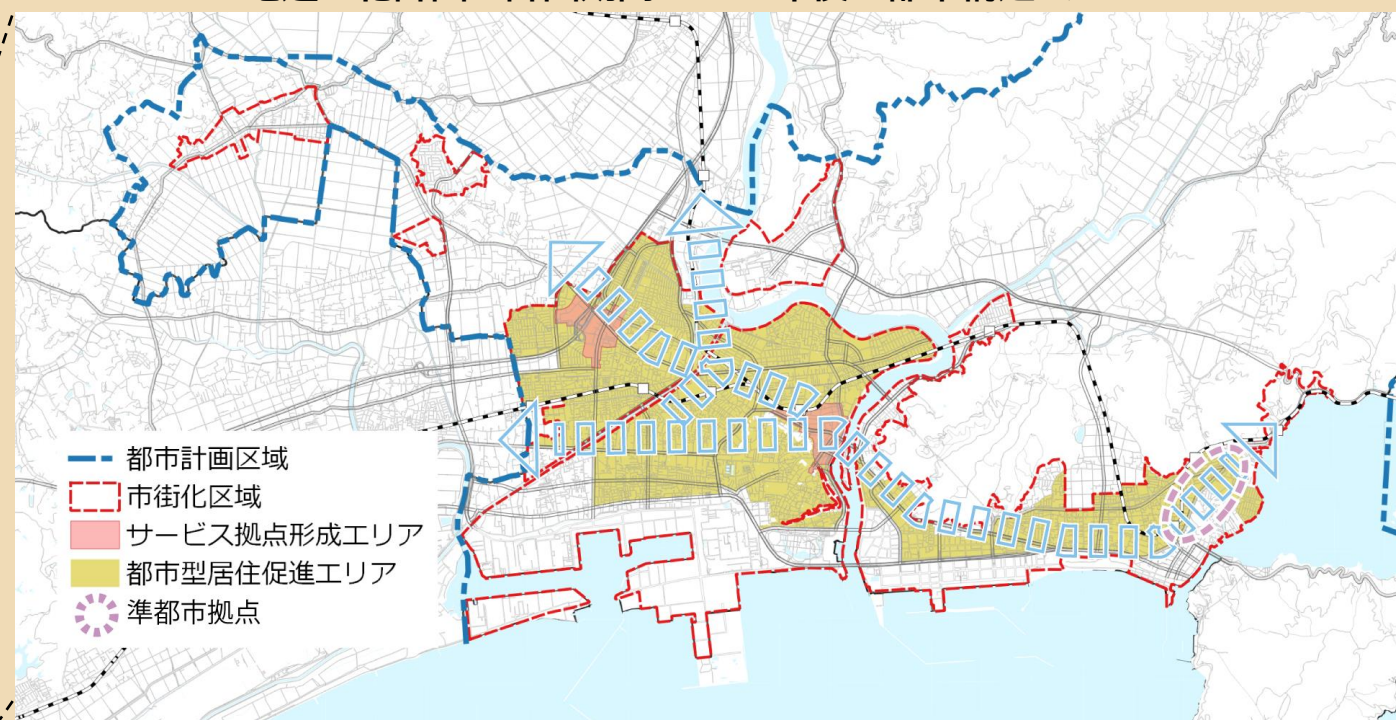
## 第5章 まちづくりの方針

### <段階的な立地適正化の考え方（都市構造のイメージ）>

安全でコンパクトな市街地を形成してきた震災復興のあゆみを踏まえつつ、40 年後の将来の都市構造実現を見据え、本計画により 20 年間かけて都市構造の変革を図ります。

本計画では、震災復興により整備された拠点施設や都市基盤といった既存ストックと新たな人材を活かし続けながら、まとまりのある市街地を形成するとともに、一定の人口密度を維持し、サービス拠点形成エリアにおける生活サービス施設の維持、充実により、更なるまちの魅力と活力を高め、快適な暮らしを実現する計画とします。

### 立地適正化計画の計画期間 ～20年後の都市構造イメージ～



### 長期的に目指すべき都市の将来像 ～40年後の都市構造イメージ～





## 第5章 まちづくりの方針

### 4. 将来都市構造の実現に向けた戦略

#### <骨格となる拠点の考え方>

##### コンセプト

市民生活を支え、交流の機会を生み出す「サービス拠点形成エリア」と、それを補完し日常生活を支える拠点形成

#### <目指す住まい方／暮らし方の考え方>

##### コンセプト

ライフスタイルに応じた健康で安心できる暮らしの実現

以下の2つの視点から「サービス拠点形成エリア」を位置づけます。

##### 【視点1】

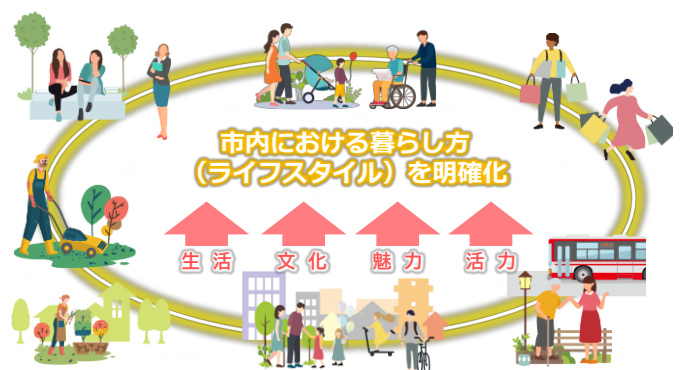
関連計画・市の歴史的背景から、市の拠点としての役割を担う地区

##### 【視点2】

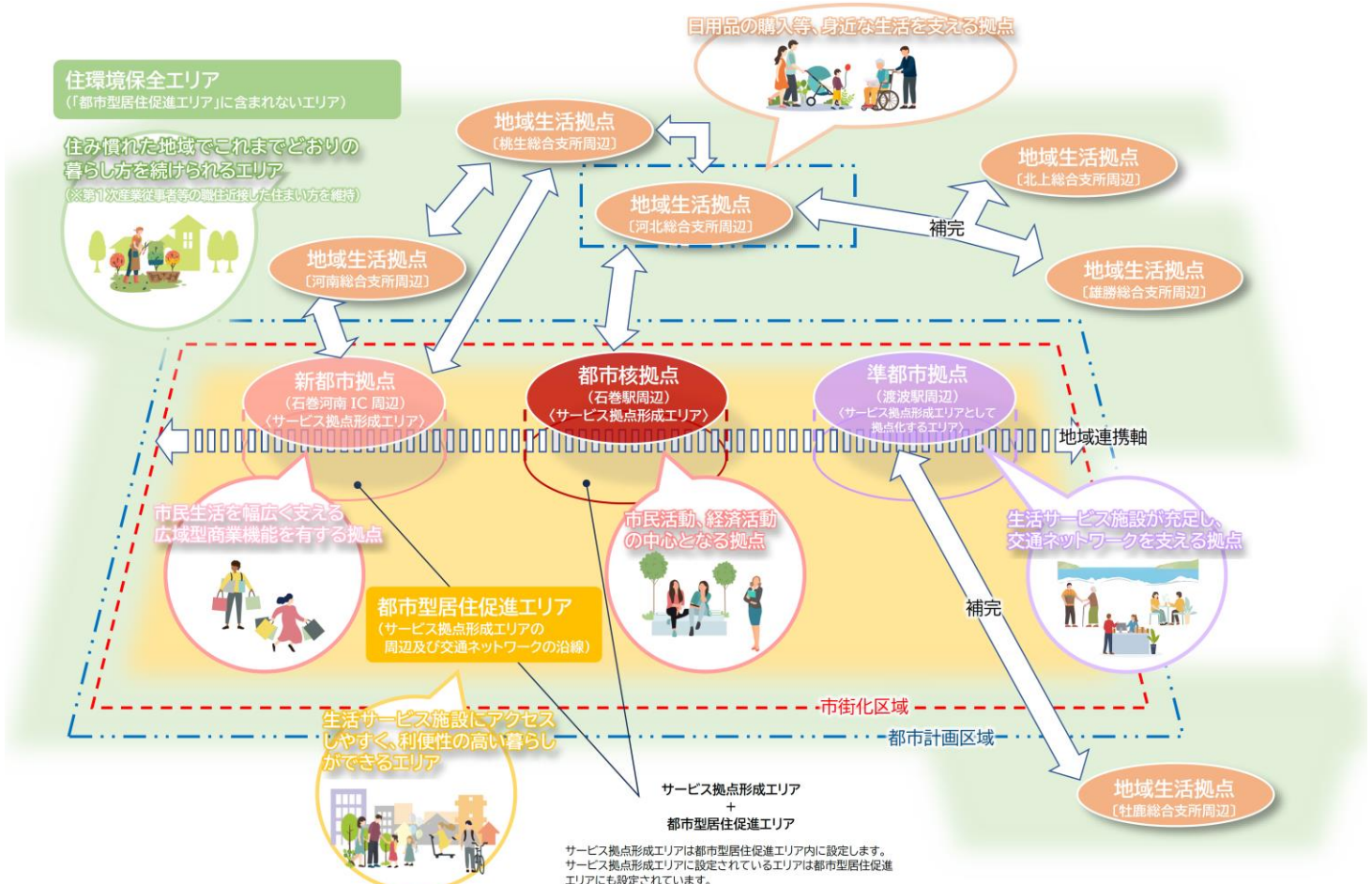
都市機能が集積している地区

- ✓「都市核拠点」及び「新都市拠点」にサービス拠点形成エリアを設定
- ✓「準都市拠点」は将来的なサービス拠点形成エリアの位置づけに向け、拠点・ネットワーク構築を促進

本市の特性を十分に活かした暮らし方のイメージを明確に分かりやすく示し、ライフスタイルの選択を可能とすることで、持続可能な暮らしの実現を図るとともに、市民の生活満足度向上を目指します。



#### <ライフスタイルに応じた暮らしのイメージ>



## 第6章・第7章 サービス拠点形成エリア・都市型居住促進エリア

### 1. エリア設定の考え方

#### 《サービス拠点形成エリア》

関連計画との整合と拠点の役割を支える  
機能の立地状況

- ・ 駅等の公共交通からの徒歩圏
- ・ 土地利用規制(用途地域等)

#### サービス拠点形成エリアの設定

※「サービス拠点形成エリア」は都市再生特別措置法第81条第2項に基づく「都市機能誘導区域」を示す

#### 《都市型居住促進エリア》

前提条件(対象としない区域の確認)

STEP1: 居住利便性の高いエリアの抽出

STEP2: まとまりのあるエリアの抽出

#### 都市型居住促進エリアの設定

※「都市型居住促進エリア」は都市再生特別措置法第81条第2項に基づく「居住誘導区域」を示す

### 2. エリアの設定

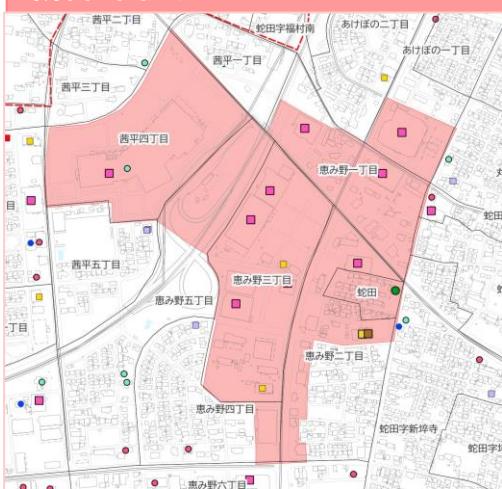
#### 《サービス拠点形成エリア》

【面積】 約 97.6ha(市街化区域の約 3.0%)  
※都市核拠点…約 48.8ha、新都市拠点…約 48.8ha

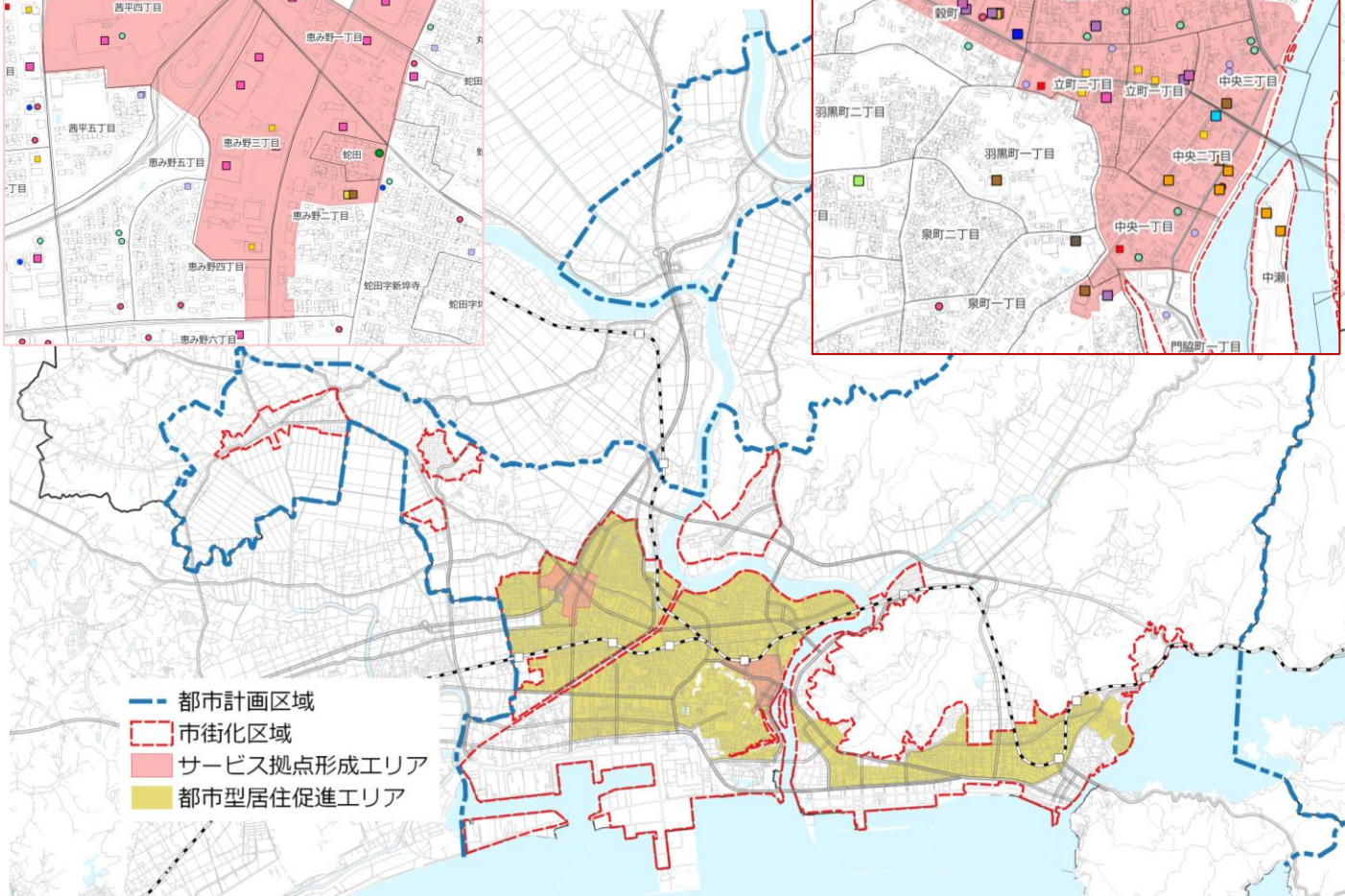
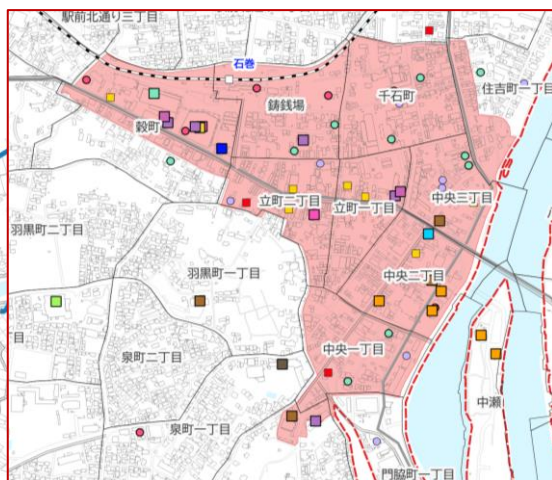
#### 《都市型居住促進エリア》

【面積】 約 1,718ha(市街化区域の約 51.7%)  
【人口】 約 85,300 人(2020 年(令和 2 年))  
【人口密度】 約 49.7 人/ha(2020 年(令和 2 年))

#### 新都市拠点(石巻河南 IC 周辺)



#### 都市核拠点(石巻駅周辺)





### 1. 地域生活拠点の考え方

#### 目指す姿

- ✓ 日常生活を支える商業施設、医療施設、子育て施設、福祉施設等が身近に存在している。
- ✓ 公共交通ネットワークや自動車等によりスムーズに利用でき、子どもから高齢者まで心豊かに暮らしている。

#### 【求められる機能】

- ・ 行政サービスを中心に、身近な生活を支える施設が揃っている地域
- ・ 子どもから高齢者まで住み続けることができる地域

#### 計画の策定で期待される効果

- ▶ 必要な生活サービス施設が身近に集積し、容易にアクセスが可能な拠点を形成
- ▶ 住み慣れた地域でこれまでどおりの暮らし方を続けられる機能を維持

### 2. 住環境保全エリアの考え方

#### 目指す姿

- ✓ 地域の生活や文化、コミュニティが維持され、ゆったりとした生活を求める人々が暮らしている。
- ✓ 各拠点までのアクセス性が確保されている。
- ✓ 多様な地域特有の暮らしが継承され、豊かな自然との共生や農林水産業と調和した環境が維持されている。

#### 【求められる機能】

- ・ これまでどおりの良好な住環境を維持し、住み続けることができる地域
- ・ 豊かな環境と調和したゆったりとした住まい方を享受できる地域
- ・ 職住が近接する住まい方を保全する地域（※例えば、農業等の従事者の農村部での居住は存続）

#### 計画の策定で期待される効果

- ▶ 各拠点の活性化に合わせたアクセス性の担保により、住み慣れた地域での居住が実現
- ▶ ライフスタイルに応じて適切に新築・住み替えが進み、ゆったりとした自然豊かな暮らしが実現
- ▶ 身近な自然景観や農林水産業が適切に維持

## 第6章～第8章 エリア別の施策の推進

持続的に発展する都市づくりに向けて、エリア別に施設誘導、居住促進、持続可能な居住形成のための施策を推進します。施策の展開にあたっては、立地適正化に係る届出制度や各種事業・制度を活用しながら、効果的に推進します。

### 都市核拠点

#### <機能誘導施策>

市役所や病院等の高次都市施設の集積とともに、多様な世代の居場所となり、観光客や市民の交流の場となる機能誘導を図ります。

**施策①** 高次の都市機能が集積し、市民生活を支える

**施策②** 地域資源を活かした多様な市民の居場所となり、交流を育む

**施策③** 観光客・ビジネス客・就業者を呼び込み、活気や賑わいを生み出す

#### <拠点形成施設>

現在のサービス拠点形成エリア内での施設の立地状況や、暮らしのイメージ実現の上で必要な施設、市民の意識・生活行動を反映し、拠点形成施設として位置づけ、誘導を図ります。

※「拠点形成施設」は都市再生特別措置法第81条第2項に基づく「誘導施設」を示す。

#### <届出制度による機能誘導>

サービス拠点形成エリア外の区域で拠点形成施設を有する建築物の開発行為・建築等行為を行おうとする場合に届出が必要になります。

届出をした者に対して、市は開発規模の縮小やサービス拠点形成エリアへの立地を促すことができます。

### 新都市拠点

#### <機能誘導施策>

大規模商業施設等の高次都市施設の集積とともに、多岐にわたる市民ニーズに応える施設の充実を図ります。

**施策①** 高次の都市施設の継続的な立地により、市民生活を支える

**施策②** 多様なライフスタイルに対応した生活サービスを提供する

### 準都市拠点

将来のサービス拠点形成エリアとして拠点化を図ります。

**施策①** 生活に必要な施設を持続的に立地・誘導する

**施策②** 市東部の交通結節点として、市内の各地域と市街地部の移動を支える

### 都市型居住促進エリア

#### <居住促進施策>

これまでに整備してきた都市基盤を活用し、市民の定住促進とともに、新たな居住地としての選択肢となるような居住環境の形成を図ります。

**施策①** 市外からの転入、市内での住み替えにより、都市型居住促進エリアへの居住を促進する

**施策②** 既存ストックを活用して居住を維持・促進する

#### <届出制度による居住促進>

都市型居住促進エリア外の区域で一定規模以上の開発行為・建築等行為を行おうとする場合に届出が必要になります。

届出をした者に対して、市は開発規模の縮小や都市型居住促進エリアへの立地を促すことができます。

### 地域生活拠点・ 住環境保全エリア

#### <持続的な居住形成施策>

「石巻市都市計画マスタープラン」と連携し、既存のインフラ等を活用しながら総合支所を中心とした良好な生活環境の形成と周辺の自然環境と共生したゆったりとした居住環境の形成を図ります。

#### <ネットワークの施策>

「石巻市総合交通計画」や「石巻市都市計画マスタープラン」と連携し、交通弱者に配慮した交通体系の確立や交通ネットワークの持続可能な維持に向けた新たな移動手段の検討を行います。

## 第6章～第8章 エリア別の施策の推進

### ＜拠点形成施設設定の考え方＞

各拠点のライフスタイル

都市核拠点：市民活動、経済活動の中心となる拠点

新都市拠点：市民生活を幅広く支える広域型商業機能を有する拠点

各拠点の目指す姿を実現

条件① エリア内に現在立地している施設の種類・規模、主体等を整理

条件② 市民の意識・生活行動の反映

条件③ 各拠点の求められる役割の整理(誘導施策との連動)

拠点形成施設として位置づけるもの

機 能	拠点形成施設	都市核拠点	新都市拠点
行 政	市役所	○	
	支所		○
防 災	防災センター	○	
医 療	病院(病床数 180 床以上の施設)	○	
	診療所(内科を有する施設)	○	○
商 業	大規模小売店舗(店舗面積 2,000 m <sup>2</sup> 以上の施設)	○	○
子育て・健 康・福 祉	子どもセンター	○	
	ささえあいセンター	○	
	保健相談センター	○	
	サービス付き高齢者向け住宅	○	
	有料老人ホーム	○	
交 流・観 光	市民交流施設	○	
	事務所等(飲食または物販とともにコワーキングまたはシェアオフィス機能等を備えたもの)	○	
	公民館	○	○
	観光施設	○	
	その他の文化施設	○	

＜届出対象行為＞ ※都市再生特別措置法第 88 条及び第 108 条に基づく届出対象行為

	都市機能誘導区域 (サービス拠点形成エリア)外で…	居住誘導区域 (都市型居住促進エリア)外で…
開発行為	○ 誘導施設(拠点形成施設)を有する建築物の建築目的の開発行為を行おうとする場合	① 3 戸以上の住宅の建築目的の開発行為 ② 1 戸又は 2 戸の住宅の建築目的の開発行為で、その規模が 1,000 m <sup>2</sup> 以上のもの ③ 住宅以外で、人の居住の用に供する建築物として条例で定めたものの建築目的で行う開発行為
建築等行為(開発行為以外)	① 誘導施設(拠点形成施設)を有する建築物を新築しようとする場合 ② 建築物を改築し誘導施設(拠点形成施設)を有する建築物とする場合 ③ 建築物の用途を変更し誘導施設(拠点形成施設)を有する建築物とする場合	① 3 戸以上の住宅を新築しようとする場合 ② 人の居住の用に供する建築物として条例で定めたものを新築しようとする場合 ③ 建築物を改築し、または建築物の用途を変更して住宅等(①・②)とする場合
	都市機能誘導区域 (サービス拠点形成エリア)内の…	
休廃止等	① 開発済(建築済)の誘導施設(拠点形成施設)を休止する場合 ② 開発済(建築済)の誘導施設(拠点形成施設)を廃止する場合	—

＜届出の時期＞ 開発行為等に着手する 30 日前まで  
誘導施設(拠点形成施設)を休止または廃止しようとする日の 30 日前まで

## 第9章 防災指針

### 1. 防災指針の位置づけと考え方

#### < 防災指針の概要 >

近年、水災害を中心に自然災害が頻発化・激甚化の傾向を見せており、自然災害被害の抑制・軽減に向けた都市計画の策定や市街地整備の推進が求められています。そのため、国は2020年(令和2年)9月に都市再生特別措置法を改正し、立地適正化計画に防災指針を定めることとしました。

#### < 防災指針の基本的な考え方 >

本市は市街地での復旧・復興において、多重防御として一線堤や二線堤の整備、沿岸部から内陸部・東西への緊急輸送路となる主要道路整備等の減災まちづくりの推進、さらに、一時避難場所となる津波避難ビル・津波避難タワーによる新たな防災体制の構築といった災害に強い都市基盤の整備と、土地区画整理事業を活用した居住環境の整備や復興公営住宅の整備等による安全安心な住まいの再建を進めてきました。

一方で、宮城県が2022年(令和4年)5月に公表した津波浸水想定において市街地の広い範囲で浸水リスクが想定される等、残存する災害リスクに対しては、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本方針とし、たとえ被災したとしても人命が失われないことを最重視します。

復旧・復興により整備した道路や市街地といったハードを最大限に活かしつつ、改訂した地域防災計画(2023年(令和5年)10月改訂)とも連携して土地利用や避難対策をはじめとしたソフト対策にも取り組み、ハード・ソフトの両面から人命を守る減災対策を展開します。



### 2. ハザードごとの具体的な取組

	施策	
土砂災害	土砂災害警戒区域等の周知	警戒避難体制の整備
洪水	治水対策の推進	洪水ハザードマップの周知
	河川管理施設の整備	避難路等の機能強化、環境整備
内水氾濫	下水道の整備(雨水排水対策(内水)の推進)	
津波・高潮	津波避難施設等の整備	津波災害特別警戒区域の建築物の安全対策
	特に配慮を要する施設の防災拠点化	ハザードマップの作成・周知・有効活用
	津波避難計画の策定及び周知	地域防災力の向上
	地域ごとの津波避難計画の策定支援	高潮災害の防止
	耐震・耐津波性の強化	
全体	既存建築物の耐震化の推進	防災関連行事の実施
	土地区画整理事業の推進	防災教育・防災意識の向上
	地域防災計画と都市計画との関連への配慮	自主防災組織の育成及び強化
	建物内の安全対策	防災拠点の整備及び連携
	ブロック塀等の安全対策	



## 第10章 目標達成に向けた指標と進行管理

### 1. 目標指標の設定

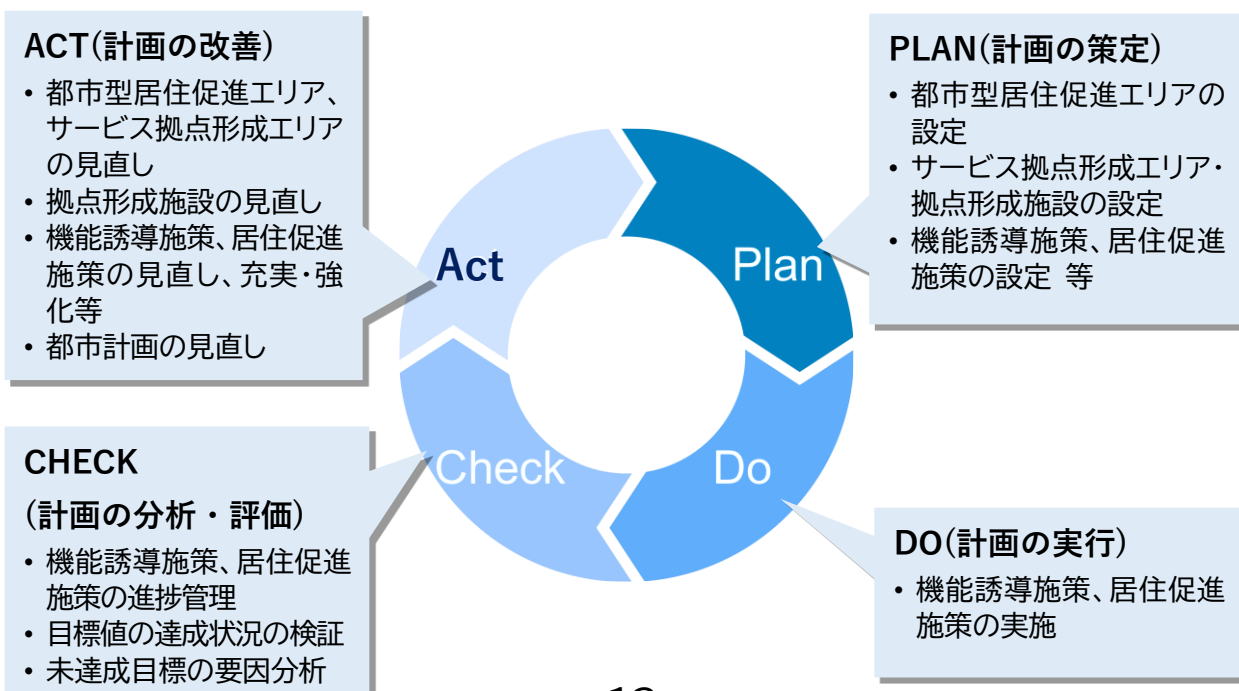
本計画では、都市型居住促進エリアにおいて、現在の都市基盤を最大限活用し、まとまりのある市街地を形成するとともに、一定の人口密度を維持し、サービス拠点形成エリアの都市核拠点(石巻駅周辺)と新都市拠点(石巻河南インターチェンジ周辺)において、生活サービス施設を維持・充実することを目指します。そのため、それぞれに対応する目標を以下のとおり設定します。

	目標指標	基準値	目標値 (2040年度)
施設誘導	都市核拠点(石巻駅周辺)の拠点形成施設数	21 施設 (2023年度)	維持・充実
	新都市拠点(石巻河南 IC 周辺)の拠点形成施設数	11 施設 (2023年度)	維持・充実
居住促進	都市型居住促進エリア内の人口割合	60 % (2020年度)	65 %
	都市型居住促進エリア内の人口密度	49.7 人/ha (2020年度)	43 人/ha
ネットワーク	公共交通の充足率	100 % (2021年度)	維持
	公共交通を利用して外出した市民の割合	5.7 % (2021年度)	増加
防災	地域の防災対策満足度(市民意識調査)	64.7% (2023年度)	増加

### 2. 計画の進行管理

都市再生特別措置法第84条を踏まえ、PDCA サイクルに基づいて概ね5年ごとに計画に記載された施策・事業の実施状況について調査、分析及び評価を行い、計画の進捗状況や妥当性等の検証を行います。

進行管理にあたっては、庁内の関係分野と連携しながら、施策・事業の進捗・改善を図るとともに、学識経験者、市民、各種団体等で構成する『懇談会』等により、施策の進捗、目標の評価・検証及び計画推進に向けた継続的な検討を行います。







## 石巻市立地適正化計画〈概要版〉

令和6年10月発行

発行者 宮城県石巻市

企画・編集 建設部都市計画課

〒986-8501

宮城県石巻市穀町14番1号

TEL 0225-95-1111

FAX 0225-23-4345

E-mail [iscplan@city.ishinomaki.lg.jp](mailto:iscplan@city.ishinomaki.lg.jp)

ホームページ <https://www.city.ishinomaki.lg.jp/index.html>

# 第 1 回 石巻市みどりの基本計画策定懇談会

---

## ウ 石巻市のみどりの現況

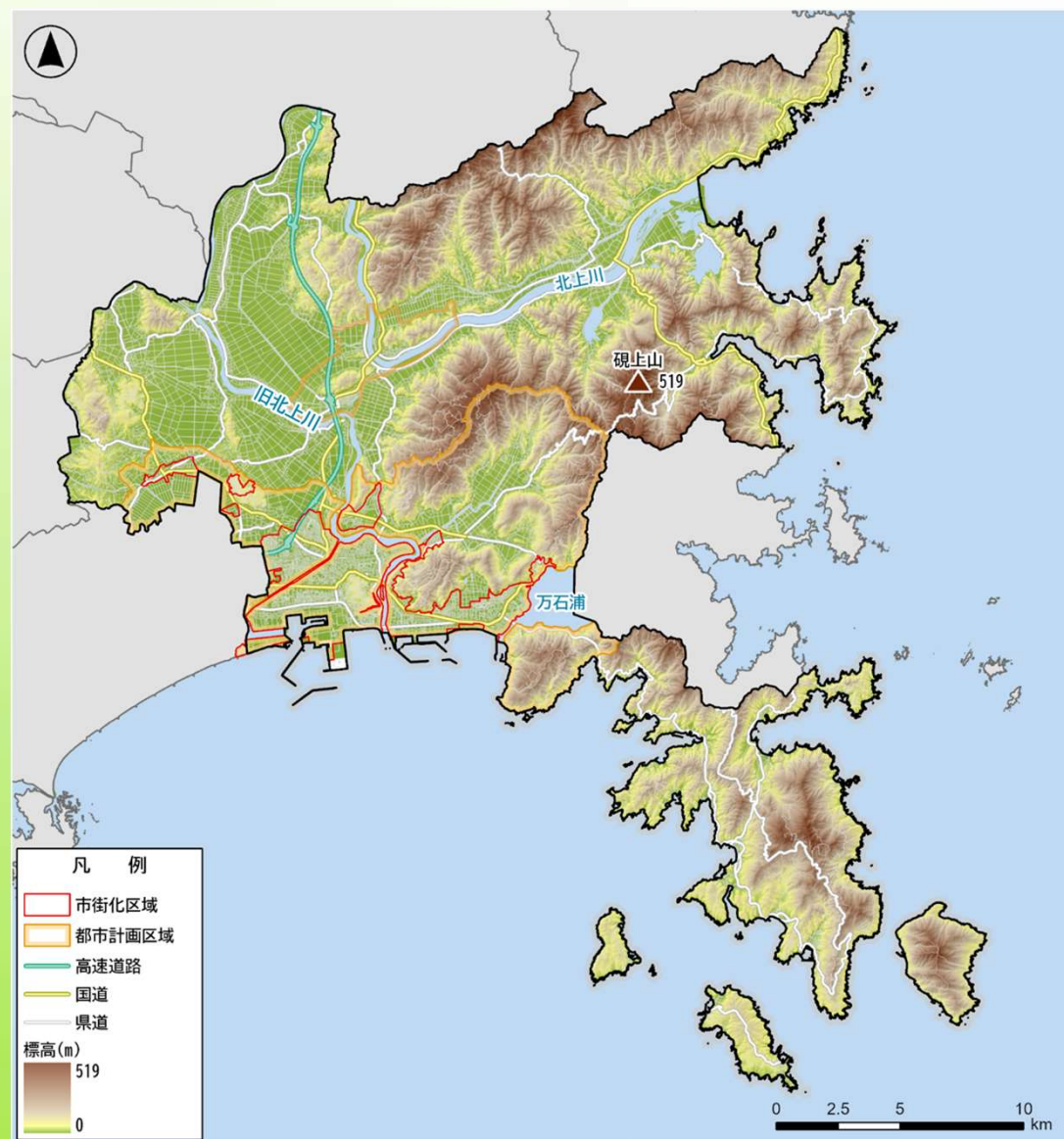


## ウ 石巻市のみどりの現況について

### ●地勢

本市は、宮城県の北東部に位置し、東西約37.5km、南北約43.0kmの面積約555km<sup>2</sup>を有しています。

地形は、北上山地や牡鹿半島、仙台平野、北上川、旧北上川、追波湾や石巻湾など山、川、海を富んだ自然環境となっています。



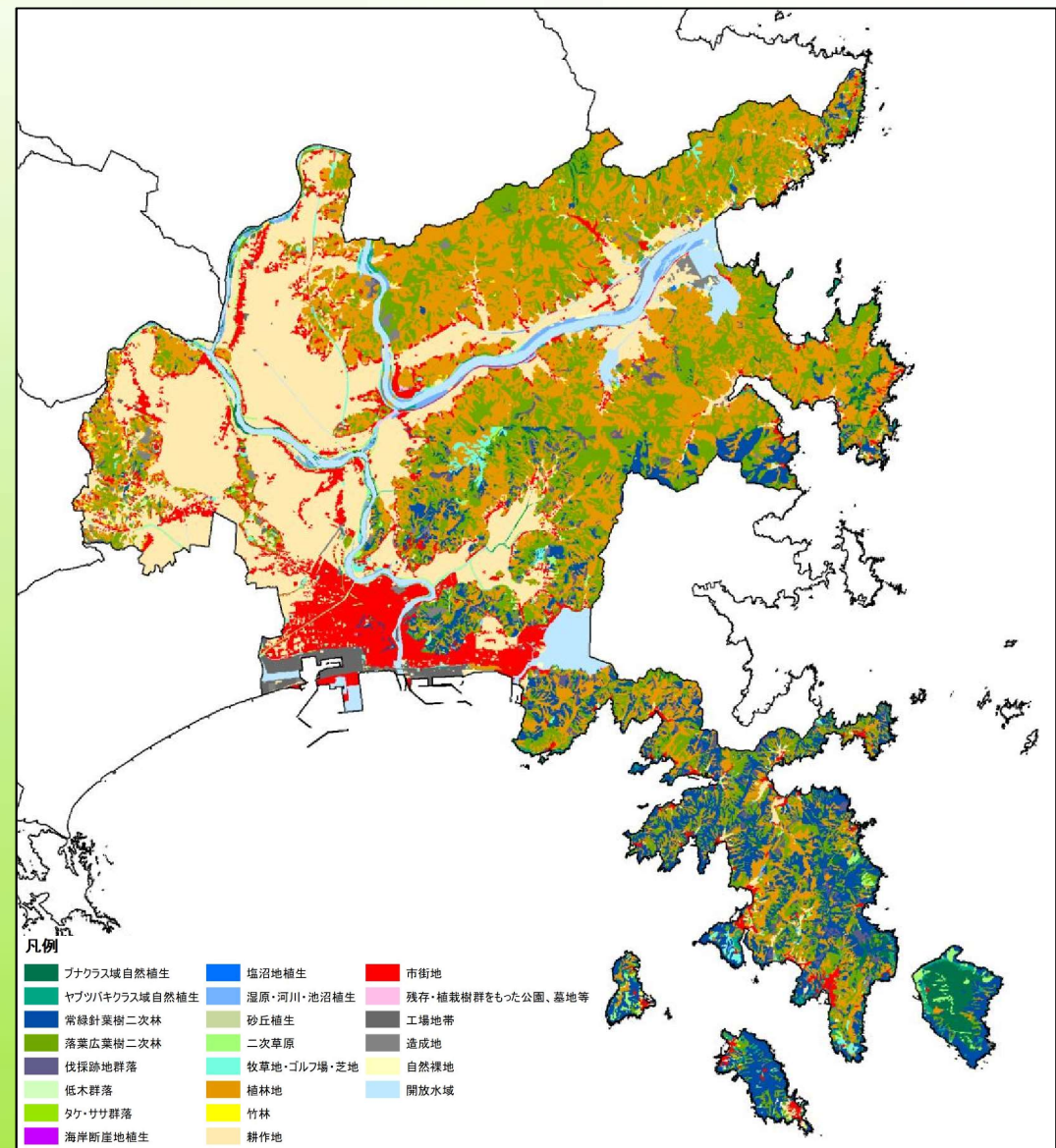
※出典：国土数値情報

## ウ 石巻市のみどりの現況について

### ●植生

自然植生は、山地・丘陵の一部に見られる暖帯落葉樹林帯（中間温帯）のモミ・イヌブナ林、温帯落葉樹林帯（冷温帯）のブナ林、島や海岸で見られるクロマツ林や照葉樹林帯（暖温帯）のタブノキ林です。

森林は市の東部を中心に分布しており、コナラなどの雑木林（二次林）とスギ、ヒノキ、アカマツなどの植林地がモザイク状に入り混じっています。



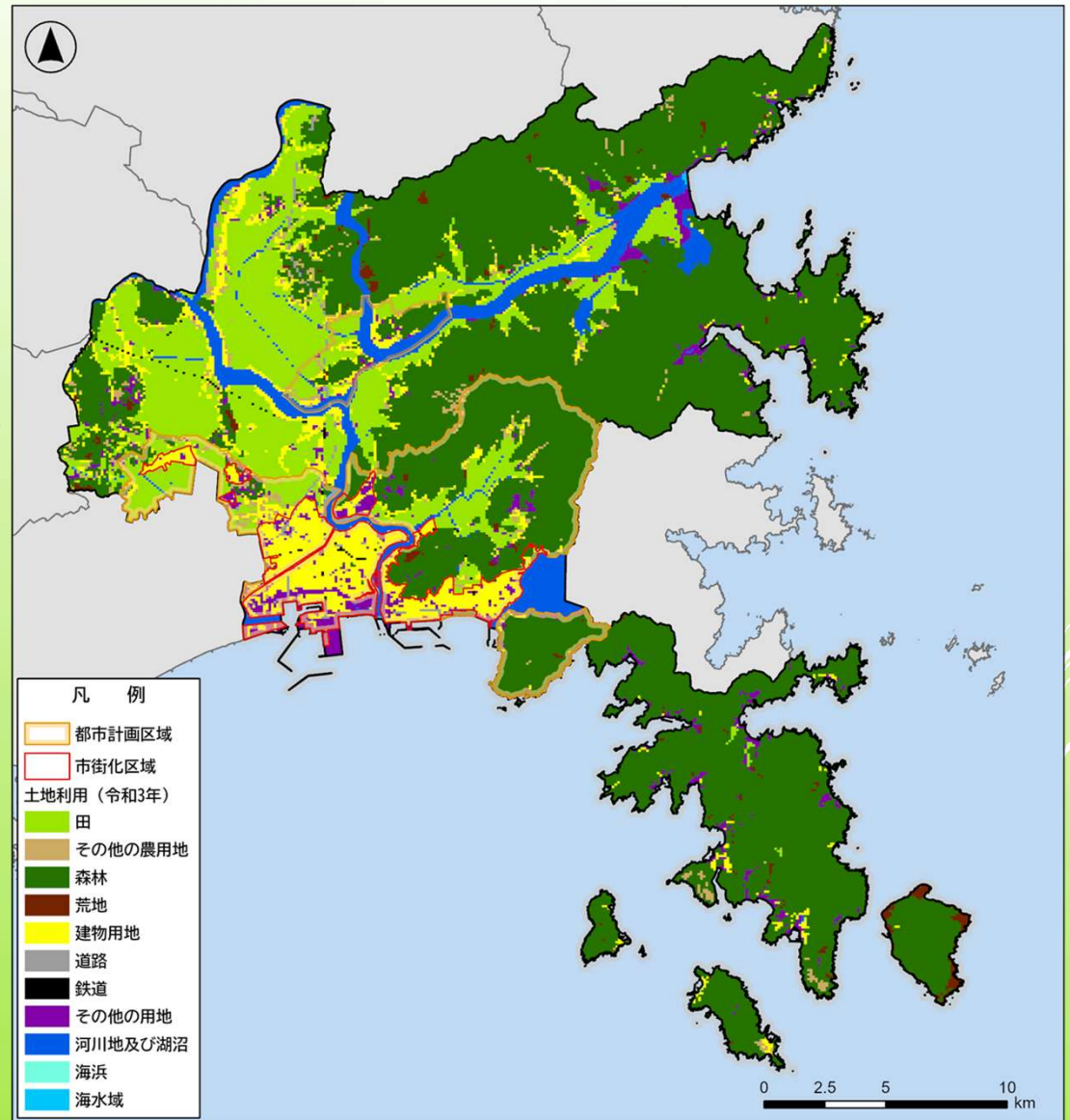
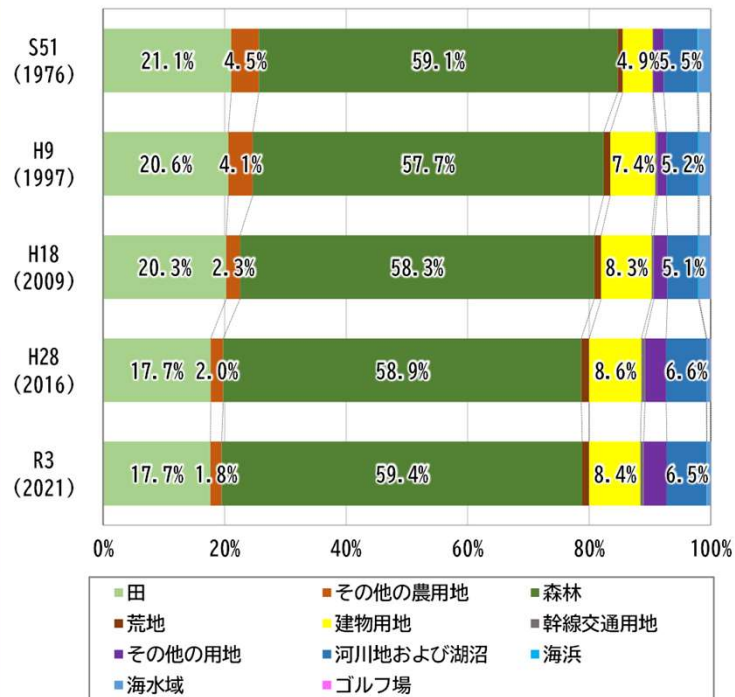
※出典：環境省生物多様性センター

# ウ 石巻市のみどりの現況について

## ●土地利用の状況

土地の6割ほどが森林となっている。

田や農用地は減少傾向、建物用地は増加傾向にあります。



※出典：国土数値状況（R3）



## ウ 石巻市のみどりの現況について

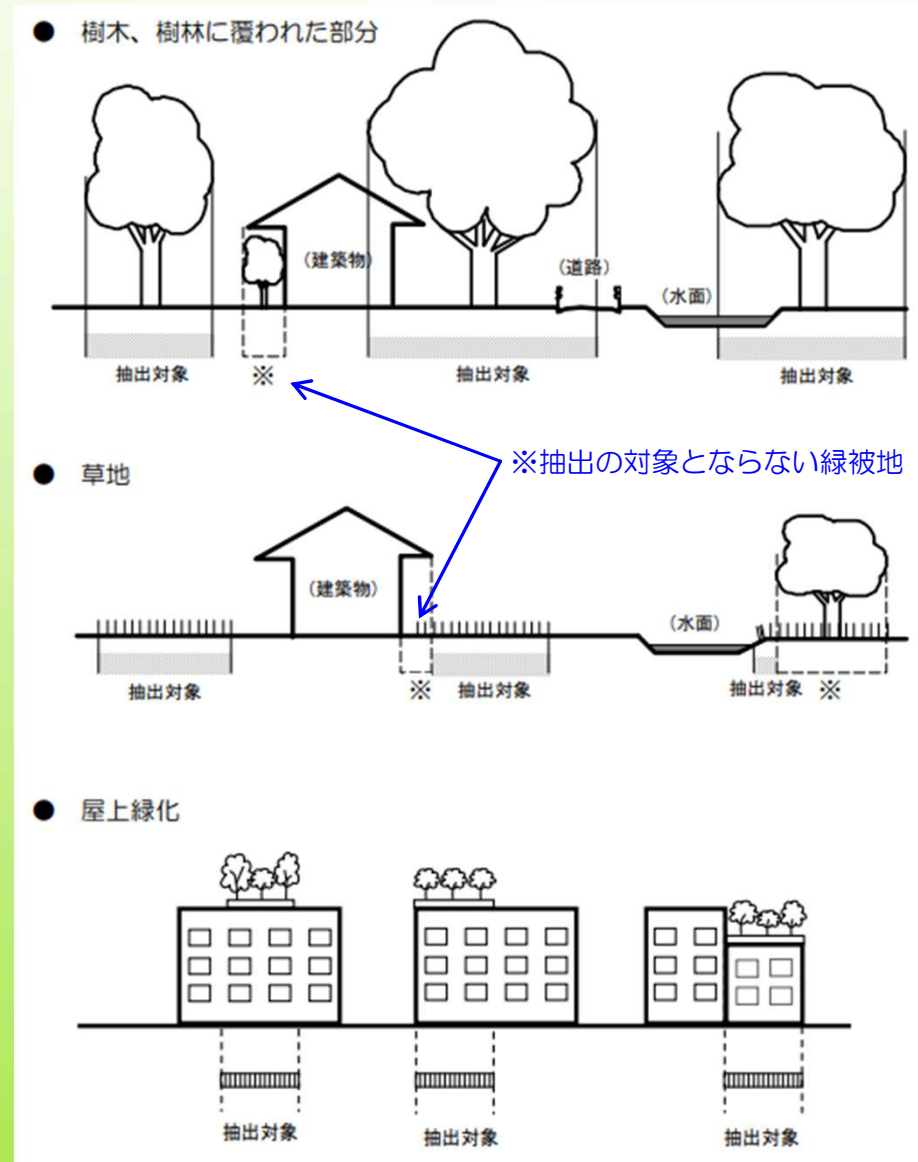
### ●緑化の状況（緑被率）

地域において、樹林や草などに覆われた部分の面積が、地域全体の面積に占める割合を示します。

主に、航空写真を用いて**上空から見てどれだけ土地が緑に覆われているか**を調査するものです。



石巻市全体、または、地域単位でみどりの量が多いか少ないかを**定量的に評価**することができる。



※出典：緑被率標準調査マニュアル（東京都環境保全局）

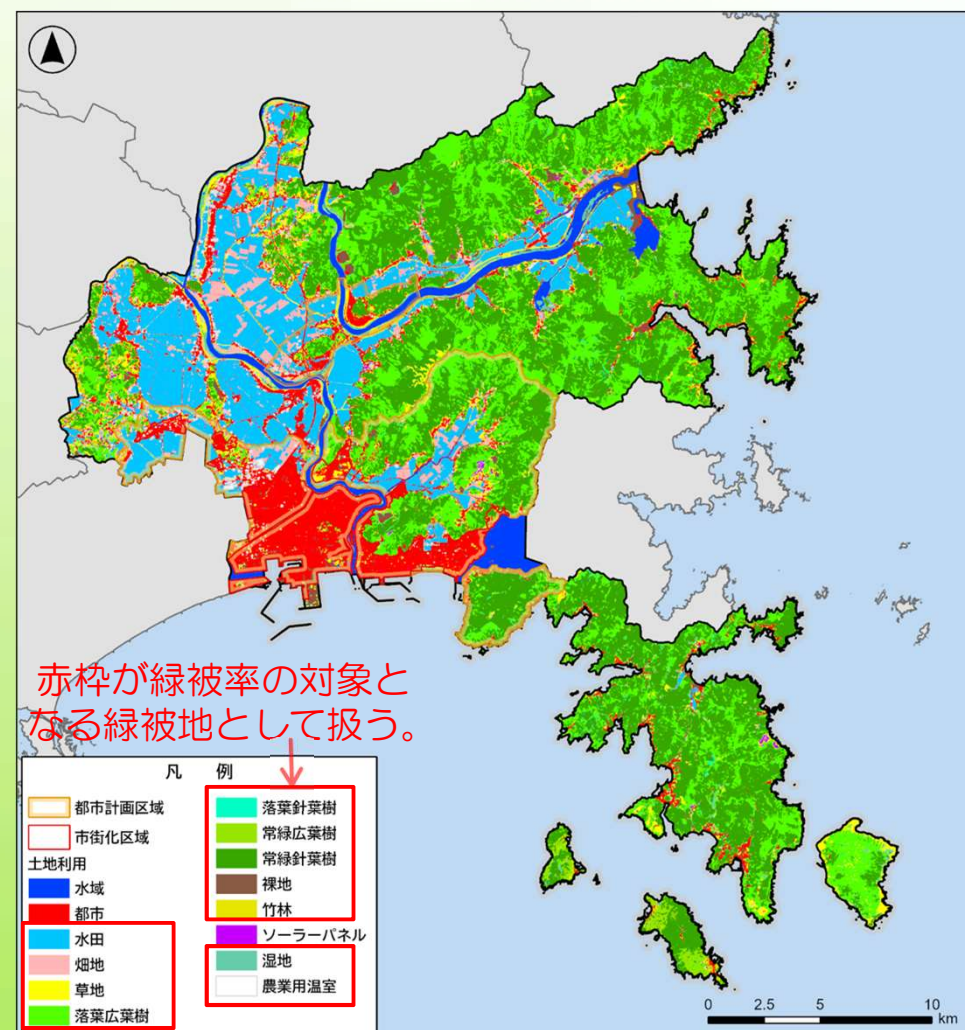
## ウ 石巻市のみどりの現況について

### ●緑化の状況（緑被率）

石巻市の緑被面積は、都市計画区域内で約80.5km<sup>2</sup>で**緑被率は約68.7%**、市街化区域内に限定すると約4.0km<sup>2</sup>で**緑被率は約12.2%**となっている。

	石巻市	都市計画区域	市街化区域
対象面積	554.2 km <sup>2</sup>	117.2 km <sup>2</sup>	33.0 km <sup>2</sup>
緑被面積	488.2 km <sup>2</sup>	80.5 km <sup>2</sup>	4.0 km <sup>2</sup>
緑被率	88.1%	68.7%	12.2%

	仙台市	都市計画区域	市街化区域
対象面積	786.4 km <sup>2</sup>	443.0 km <sup>2</sup>	180.0 km <sup>2</sup>
緑被面積	616.3 km <sup>2</sup>	278.0 km <sup>2</sup>	47.4 km <sup>2</sup>
緑被率	78.4%	62.8%	26.3%



仙台市と比較すると、市全域では石巻市の方が緑被率が高いが、市街化区域のみに着目すると仙台市の方が2倍以上も高い数値となる。  
⇒市全体での量だけでなく、人が多く住むエリアなど、地域単位での緑の量を評価することも重要である。

## ウ 石巻市のみどりの現況について

### ●施設緑地（都市公園）

施設緑地とは、地方公共団体等が、一定の区域の土地の所有権を取得し、公園形態をつくり公開する緑地のことで、主に都市公園が該当します。

■施設緑地（都市公園）の現況＜令和6年（2024年）3月末現在＞

種類		都市計画公園		その他の都市公園		合計		合計 （震災直後 H23.4.1時点）	
		数	面積(m <sup>2</sup> )	数	面積(m <sup>2</sup> )	数	面積(m <sup>2</sup> )	数	面積(m <sup>2</sup> )
基幹公園	街区公園	30	68,494	81	200,447	111	268,941	57	118,939
	近隣公園	2	33,519	4	82,605	6	116,124	7	134,136
	地区公園	2	60,033	1	40,776	3	100,809	3	100,809
	運動公園	2	313,118	1	132,388	3	445,506	3	327,276
特殊公園		1	609,020	2	18,525	3	627,545	3	627,545
大規模公園		1	387,623	—	—	1	387,623	—	—
都市緑地		5	109,152	42	58,491	47	167,643	6	24,262
合 計		43	1,580,959	131	533,232	174	2,114,191	79	1,332,967

■市民一人当たりの都市公園面積比較  
（令和6年3月末現在）

石巻市	仙台市	宮城県 (仙台市を除く)	宮城県 (全体)	全国 (全体)
19.5 m <sup>2</sup> /人	15.4 m <sup>2</sup> /人	25.8 m <sup>2</sup> /人	20.3 m <sup>2</sup> /人	10.7 m <sup>2</sup> /人

■市民一人当たりの都市公園面積比較  
（類似規模自治体）

石巻市 ※人口 13.3万人 面積 約555km <sup>2</sup>	栃木県那須塩原市 ※人口 11.4万人 面積 約593km <sup>2</sup>	長野県上田市 ※人口 15.7万人 面積 約552km <sup>2</sup>	愛媛県西条市 ※人口 10.4万人 面積 約510km <sup>2</sup>
19.5 m <sup>2</sup> /人	11.1 m <sup>2</sup> /人	14.4 m <sup>2</sup> /人	10.0 m <sup>2</sup> /人

## ウ 石巻市のみどりの現況について

### ●施設緑地（都市公園以外）

都市公園以外の施設緑地として、主に都市公園以外の公園が該当します。石巻市内には駅前広場やちびっこ広場、児童遊園などが整備されてるほか、学校敷地内にあるグラウンドやゴルフ場なども該当します。

#### ■都市公園以外の公園（都市計画課管理分）

種別	公園数	面積(m <sup>2</sup> )	対 象
駅前広場	4	10,379.94	石巻駅前広場、稲井駅前広場、渡波駅前広場、あゆみ野駅前広場
その他の公園	25	57,130.11	捨喰公園、田道町二丁目公園、水と緑と子供たちの広場1、水と緑と子供たちの広場2、水と緑と子供たちの広場3、水と緑と子供たちの広場4、水と緑と子供たちの広場5、音の広場、水の広場、住吉広場、流留緩衝緑地、松並緑地、新下沼区画整理公園、新東前沼ポケットパーク、水押北公園 など
ちびっこ広場	25	20,642.00	渡波町一丁目ちびっこ広場、際ちびっこ広場、門脇町ちびっこ広場、住吉町ちびっこ広場、門脇町第二ちびっこ広場、井内ちびっこ広場、折立ちびっこ広場、流留家の前ちびっこ広場、大手町ちびっこ広場、雷神ちびっこ広場、蛇田高玉ちびっこ広場、駅前ちびっこ広場、築山ちびっこ広場 など
児童遊園	10	11,896.21	水押市営住宅児童遊園、日和が丘四丁目児童遊園、羽黒町児童遊園、流留児童遊園、梨木畑児童遊園、鮎川第2児童公園、大原児童公園、羽坂児童遊園、大谷地児童遊園、亀ヶ森児童遊園
開発公園	291	103,223.16	旧石巻分：202箇所 旧町分：89箇所
計	355	203,271.42	

#### ■その他の施設緑地

その他の公園（他課管理）、ゴルフ場、教育施設等グラウンド、公共緑地（植樹帯）、神社・寺院など

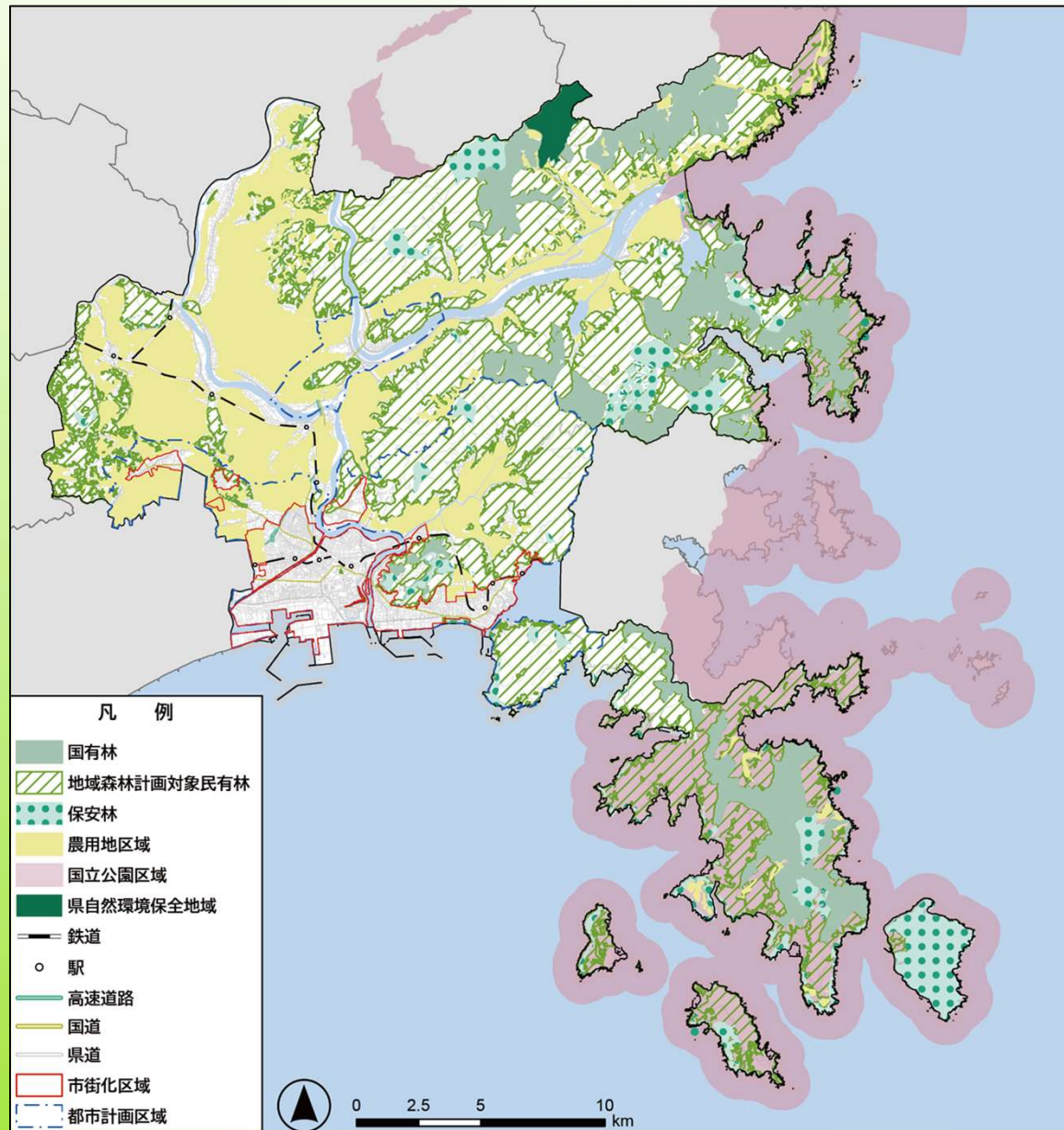


## ウ 石巻市のみどりの現況について

### ●地域制緑地

都市公園などの緑地以外に、法による地域の指定や協定、または条例によって保全などが図られている「**地域制緑地**」があります。

石巻市では、農用地区域や国有林、保安林などが対象となっており、**市全体の約8割**が地域制緑地となっております。





## 石巻市みどりの基本計画に関する 市民意識調査 実施要領（案）

### 1. 目的

中長期的な緑のまちづくりを展開する「石巻市みどりの基本計画」を策定するにあたり、市民の緑に関する考え方や緑化活動への参加意向、公園の整備及び管理の方針に関する意見を把握し、計画内容や取り組みに反映することを目的として市民意識調査を実施する。

### 2. 実施時期

令和 6 年    月    日( )～令和 6 年 12 月 2 0 日(金)

### 3. アンケート対象者

- ・石巻市に住民票を有する令和 6 年 9 月 30 日時点で満 18 歳以上の方

### 4. 配布方法

- ・郵送による調査（3,000 人）
- ・QR コードを用いた Web アンケート（調査票、HP、SNS など）

### 5. アンケート項目

設問項目	設問内容	分析方針
回答者の属性	年齢、性別、居住地域 等	各設問とのクロス集計による、属性別の傾向を分析する。
石巻市内の緑について	市全体の緑の豊かさ（多さ）、お住まいの地域の緑の豊かさ（多さ） 等	市民の現状の緑に対する認識を分析する。
身近な公園について	公園の利用頻度・目的、満足度とその理由 等	市民の身近な公園に対する認識を分析する。
今後の緑のまちづくりについて	石巻市内に求める緑、緑化活動への参加意向 等	今後の市の施策に対する市民のニーズ、市民の緑化活動に関する意向を分析する。

### 6. アンケート集計について

単純集計に加え、設問で基本情報（性別、年齢、居住地域等）を確認し、設問内容によってクロス集計を行う。



# アンケート調査票（案）

あなたご自身についてお聞きします。

下表の各項目について、それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

			クロス集計の 分析に活用	
1) 性別は？	1. 男性                      2. 女性                      3. 回答しない			
2) 年齢は？	1. 18～19 歳    2. 20～29 歳    3. 30～39 歳    4. 40～49 歳 5. 50～59 歳    6. 60～69 歳    7. 70～79 歳    8. 80 歳以上			
3) 主な職業は？	1. 正社員・役員・公務員    2. 自営業・自由業    3. 学生 4. パート・アルバイト    5. 専業主婦・主夫    6. 無職 7. その他（                      ）			
4) 居住地域は？	1. 石巻地区                      2. 湊・渡波地区                      3. 稲井地区 4. 萩浜・田代地区    5. 蛇田地区                      6. 河北地区 7. 雄勝地区                      8. 河南地区                      9. 桃生地区 10. 北上地区                      11. 牡鹿地区			
5) 居住年数は？ ※通算居住年数をお答えください。	1. 5 年未満                      2. 5 ～ 9 年                      3. 10～19 年 4. 20～29 年                      5. 30 年以上			



## 石巻市の緑についてお聞きします。

- (問1) 石巻市全体の「緑の豊かさ(多さ)」をどのように感じていますか。  
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

現状の緑の量に  
対する評価の確認

1. 多い      2. やや多い      3. 普通      4. やや少ない      5. 少ない

- (問2) あなたがお住まいの地域周辺の「緑の豊かさ(多さ)」をどのように感じていますか。  
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

現状の緑の量に  
対する評価の確認

1. 多い      2. やや多い      3. 普通      4. やや少ない      5. 少ない

- (問3) 10年前と比較した石巻市全体の「緑の豊かさ(多さ)」をどのように感じていますか。  
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

現状の緑の量に  
対する評価の確認

1. 増加した      2. やや増加した      3. 変化なし      4. やや減少した      5. 減少した

- (問4) あなたにとって石巻市の「大切な緑」は何ですか。  
次の中から3つまで選んで○をつけてください。

市民の考える大切な緑  
についての確認

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 山並みの緑         | 2. 河川沿いの緑(旧北上川、北上川等) |
| 3. 田畑等の農地        | 4. 公園の緑              |
| 5. 神社やお寺の境内林     | 6. 学校や市役所等の公共施設内の緑   |
| 7. 工場や商業施設の敷地内の緑 | 8. 駅前広場や道路の植栽        |
| 9. 個人宅の生垣や庭木等    | 10. その他( )           |

- (問5) 石巻市の緑について「気になること、不安・不満に感じること」はありますか。  
次の中から3つまで選んで○をつけてください。

緑の現状に対する  
課題点の確認

1. 森林等樹木の減少
2. 田畑等農地の減少
3. 学校や市役所等の公共施設内の緑の少なさ
4. 工場や商業施設の敷地内の緑の少なさ
5. 手入れが行き届いていない公園等の存在
6. 落葉期等における落ち葉等の散乱
7. 生活環境に影響を及ぼす害虫等の発生
8. 気になること、不安・不満に感じることはない
9. その他( )

## 身近な公園についてお聞きします。

(問6) あなたは、身近な公園をどのくらいの頻度で利用していますか。  
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

身近な公園の  
利用状況の把握

- |              |           |           |
|--------------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日      | 2. 週に2～3回 | 3. 週に1回程度 |
| 4. 月に1回程度    | 5. 年に数回程度 | 6. 年に1回程度 |
| 7. ほとんど利用しない |           |           |

(問7) あなたは、身近な公園で主に何をしますか。

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

身近な公園の  
利用状況の把握

- |              |                |             |
|--------------|----------------|-------------|
| 1. 花や自然を楽しむ  | 2. 散歩をする       | 3. 運動をする    |
| 4. 休憩する      | 5. 子どもを遊ばせる    | 6. 友人・知人と遊ぶ |
| 7. イベントに参加する | 8. 清掃等の活動に参加する |             |
| 9. その他 ( )   |                |             |

(問8) あなたは、身近な公園の数についてどのように感じていますか。  
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

身近な公園の量に  
対する評価の把握

- |       |         |         |       |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|---------|---------|-------|

(問9) あなたは、身近な公園の配置についてどのように感じていますか。  
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

身近な公園の量に  
対する評価の把握

- |       |         |         |       |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|---------|---------|-------|

～設問は次ページに続きます～



身近な公園の質に  
対する評価の把握

- (問 10) あなたは、身近な公園施設の維持管理についてどのようにお考えですか。  
次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
-------	---------	---------	-------

- (問 11) (問 10 で「満足」、「やや満足」と回答した方にお聞きします。) 身近な公園の満足  
とを感じる理由を教えてください。

次の中から 3 つまで選んで番号に○をつけてください。

評価に対する  
理由の確認

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1. 樹木や植物の手入れがされている | 2. 花や緑が多い    |
| 3. 休憩できる場所が多い      | 4. 遊具が多い     |
| 5. 施設が使いやすい        | 6. 見通しが良く安心  |
| 7. ルールやマナーが守られている  | 8. ゴミが少なくきれい |
| 9. その他 ( )         |              |

- (問 12) (問 10 で「不満」、「やや不満」と回答した方にお聞きします。) 身近な公園の不満  
とを感じる理由を教えてください。

次の中から 3 つまで選んで番号に○をつけてください。

評価に対する  
理由の確認

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 1. 樹木や植物の手入れがされていない | 2. 花や緑が少ない  |
| 3. 休憩できる場所が少ない      | 4. 遊具が少ない   |
| 5. 施設が使いづらい         | 6. 見通しが悪く不安 |
| 7. ルールやマナーが守られていない  | 8. ゴミが多く汚い  |
| 9. その他 ( )          |             |

- (問 13) あなたは、身近な公園はどのような公園であるべきとお考えですか。

次の中から 3 つまで選んで番号に○をつけてください。

公園の管理・整備方針の  
検討要素とするため

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 健康づくりができる公園       | 2. 軽い運動や遊び等ができる公園   |
| 3. 子どもたちが安全に遊べる公園    | 4. 気軽に立ち寄って休養できる公園  |
| 5. 友人や近所の方と交流できる公園   | 6. 地域のイベント等で利用される公園 |
| 7. 災害時に市民の安全性を確保する公園 | 8. 自然を感じることができる公園   |
| 9. その他 ( )           |                     |

## 今後の緑のまちづくりについてお聞きします。

(問 14) 石巻市で緑の保全や緑化に取り組んでいくために、重点を置くべきだと思うことを教えてください。

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

今後の施策展開の  
検討要素とするため

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 公園の整備または充実       | 2. 街路樹等の沿道の緑化     |
| 3. 河川敷や堤防等の水辺の緑化    | 4. 庭先、生垣等の住宅敷地の緑化 |
| 5. 市役所や学校等の公共施設内の緑化 | 6. 工場や商業施設の敷地内の緑化 |
| 7. 地域の人々による緑化活動     | 8. 山林の保全・管理       |
| 9. 田や畑の保全・管理        |                   |
| 10. その他 ( )         |                   |

(問 15) 石巻市のみどりに関する取り組みとして、あなたがこれまで参加したことがある活動はどれですか。

次の中からあてはまるものすべての番号に○をつけてください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 公園や道路等の清掃・美化活動への参加        |
| 2. 自宅でのガーデニング、庭木・生垣の手入れ、家庭菜園 |
| 3. 市民農園等での農作業                |
| 4. ガーデニングや家庭菜園等のための講習会等への参加  |
| 5. 環境学習や自然観察会等の活動への参加        |
| 6. 花植え・植樹活動への参加              |
| 7. 取り組んだことがない                |
| 8. その他 ( )                   |

市民の緑化活動の  
取り組みの参加経験  
について確認



(問 16) 石巻市のみどりに関する取り組みとして、あなたがこれから取り組んでみたい活動はどれですか。

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 公園や道路等の清掃・美化活動への参加
2. 自宅でのガーデニング、庭木・生垣の手入れ、家庭菜園
3. 市民農園等での農作業
4. ガーデニングや家庭菜園等のための講習会等への参加
5. 環境学習や自然観察会等の活動への参加
6. 花植え・植樹活動への参加
7. 公園づくり、緑のまちづくり等に関する検討会等への参加
8. その他（

市民の緑化活動の  
取り組みへの  
参加意向について確認

(問 17) その他、緑に関する提案や意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

[illegible]

アンケート調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

令和6年4月25日告示第229号

## 石巻市みどりの基本計画策定懇談会設置要綱

## (設置)

第1条 都市緑地法(昭和48年法律第72号)第4条第1項の規定により石巻市みどりの基本計画(以下「みどりの基本計画」という。)を策定するに当たり、専門的な見地から意見を聴取し、みどりの基本計画に反映させるため、石巻市みどりの基本計画策定懇談会(以下「懇談会」という。)を設置する。

## (意見を求める事項)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について意見を聴取する。

- (1) みどりの基本計画の策定に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項に関すること。

## (設置期間)

第3条 懇談会の設置期間は、令和8年3月31日までとする。

## (構成員)

第4条 懇談会の構成員(以下「構成員」という。)は、10人以内とする。ただし、市長が必要と認める場合は、その限りでない。

2 構成員は、次に掲げる者のうちから市長が選任する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係団体の役員、構成員又は職員
- (3) 関係行政機関の職員
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者

## (座長及び副座長)

第5条 懇談会に座長及び副座長を置き、構成員の互選により定める。

2 座長は、懇談会の会議(以下「会議」という。)の進行を行う。

3 副座長は、座長を補佐し、座長が不在のときは、その職務を代理する。

## (会議の開催)

第6条 会議は、必要に応じて市長が開催する。

2 市長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者を出席させることができる。

## (オブザーバー)

第7条 懇談会にオブザーバーを置くことができる。

2 オブザーバーは、会議に出席し、発言することができる。

## (庶務)

第8条 懇談会の庶務は、建設部都市計画課において処理する。

## (その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

## 附 則

## (施行期日)

1 この告示は、令和6年5月1日から施行する。

## (失効)

2 この告示は、令和8年3月31日限り、その効力を失う。

令和 6 年 4 月 25 日訓令第 15 号

## 石巻市みどりの基本計画策定庁内検討会議設置要綱

## (設置)

第 1 条 都市緑地法（昭和 48 年法律第 72 号）第 4 条第 1 項の規定により石巻市みどりの計画（以下「みどりの基本計画」という。）を策定し、緑地の適正な保全及び緑化を推進するため、石巻市みどりの基本計画策定庁内検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

## (所掌事務)

第 2 条 検討会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) みどりの基本計画の策定及び変更に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、みどりの基本計画の策定に当たり必要な事項に関すること。

## (組織)

第 3 条 検討会議は、会長及び委員で構成し、別表に掲げる職にある者をもって充てる。

- 2 会長は、会務を総理し、検討会議を代表する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。
- 4 検討会議は、会長が必要に応じて招集する。

## (庁内ワーキンググループ)

第 4 条 第 2 条に掲げる事項を専門的に調査及び研究させるため、検討会議に庁内ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を置くことができる。

- 2 ワーキンググループは、原則として、課長補佐級又は係長級の職員で構成する。
- 3 ワーキンググループの構成員（以下「構成員」という。）は、検討会議の委員（以下「委員」という。）が所属する課の職員のうちから委員の推薦により、会長が指名する。
- 4 ワーキンググループは、建設部都市計画課長又は同課長補佐を座長とし、ワーキンググループの会議の進行を行う。
- 5 ワーキンググループは、調査及び研究の過程並びに結果を検討会議に報告しなければならない。
- 6 座長は、必要と認めるときは、ワーキンググループに構成員以外の職員、専門的知見を有する者又は関係団体の職員の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。
- 7 ワーキンググループの会議は、座長が必要に応じて招集する。

## (庶務)

第 5 条 検討会議及びワーキンググループの庶務は、建設部都市計画課において処理する。

## (その他)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、検討会議及びワーキンググループの運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この訓令は、令和6年5月1日から施行する。

別表（第3条関係）

会長	建設部	建設部次長
委員	総務部	行政経営課長
		危機対策課長
	復興企画部	政策企画課長
	市民生活部	地域協働課長
		スポーツ振興課長
		環境課長
	保健福祉部	健康推進課長
		子育て支援課長
	産業部	農林課長
	建設部	道路課長
	教育委員会	生涯学習課長
	農業委員会	事務局長



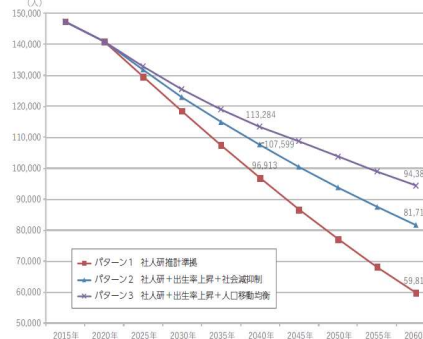
# 石巻市立地適正化計画について

参考資料 3

## 「立地適正化計画」とは

全国的に人口減少・少子高齢化の進行や都市の低密度化に伴う都市機能の低下、公共施設の維持更新費用の増大等が懸念される中、持続可能な都市経営を可能にするため、コンパクト・プラス・ネットワークを基軸においたまちづくりを推進し、段階的に都市構造を変容させることを目的に策定するもの。

本市の人口は、2024年9月末で約13万3千人であるが、**2060年には約6万人まで減少する可能性がある。**



出典：石巻市人口ビジョン

## 立地適正化計画策定で期待される効果

地域活力の維持・増進、生活サービス機能の確保による安心な暮らしを実現する  
“コンパクト”なまちづくり

地域公共交通と連携した  
“ネットワーク”の形成

- 生活サービス施設維持や住民の健康増進等、生活利便性の維持・向上
- サービス産業の生産性向上による地域経済の活性化（地域の消費・投資の好循環の実現）
- 行政サービスの効率化等による行政コストの削減
- 災害リスクを踏まえた居住等の誘導や防災対策の実施による居住地の安全性強化 等

出典：国土交通省資料から一部抜粋

## 長期的に目指すべき都市の将来像 ～40年後の都市構造のイメージ～



**歩いても暮らすことができ、  
持続的に発展する成熟都市**



**令和6年10月1日策定・公表**  
公表後は、エリア外での一定規模の開発、建築行為に届出が必要